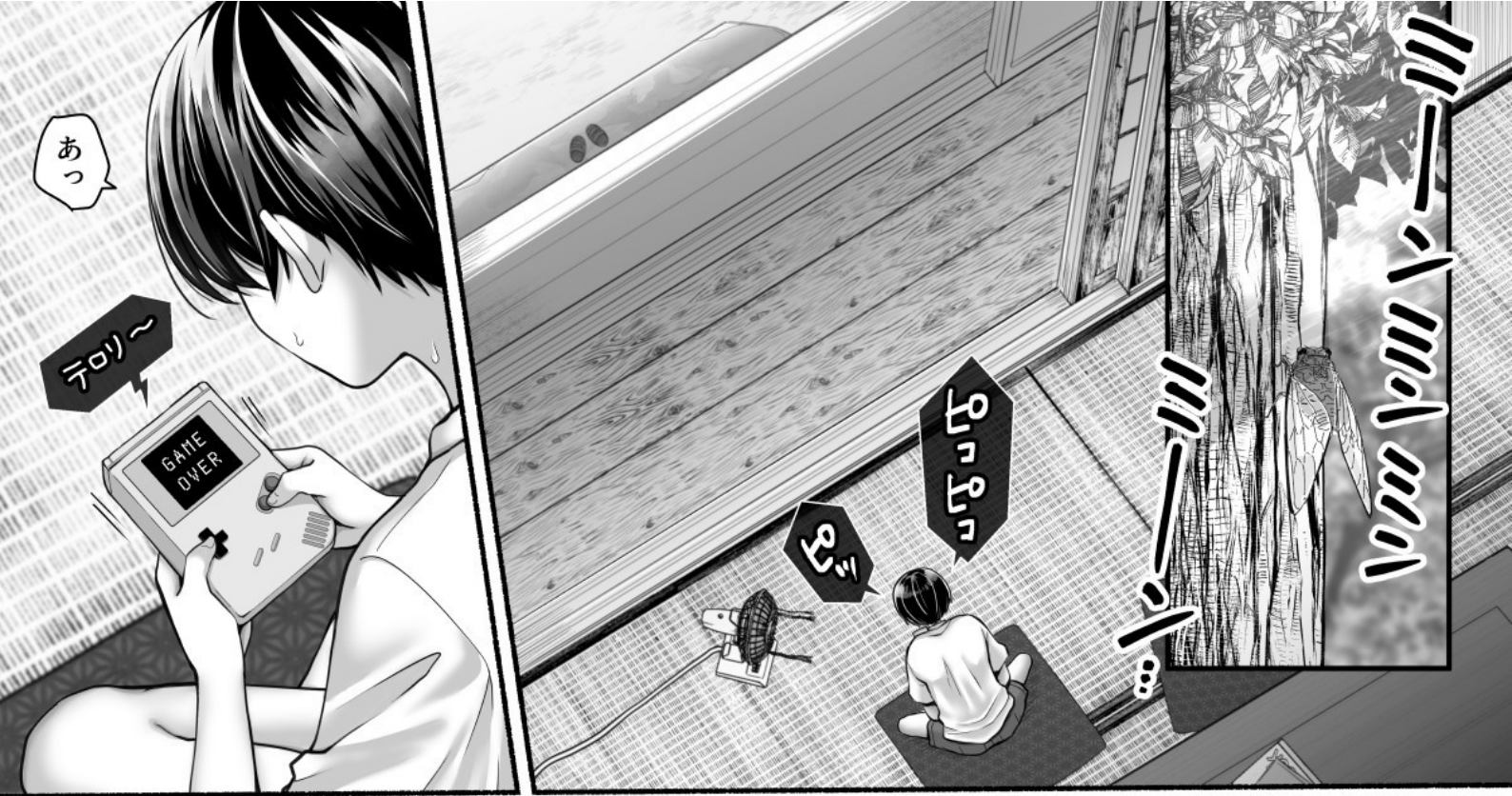


# 白蛇語り

ボク  
の  
思  
い  
出  
の  
お  
姉  
さん







あつ

テロリ〜

GAME OVER

あつ

テロリ

あつ

あつ



あそこに  
行ってみよう

ちょっと行って  
戻って来るだけなら



さんぽに  
行ってきます

みなと

大丈夫だよ



はあ...

ゲーム  
飽きちゃった...

あつ

あつ...

遊ぶ相手も  
いないし

つまらない...

...そうだ!



そこで

わあ！  
ちっちゃな  
お城みたい！

—X年前  
この山の  
探検中に  
見つけた祠

どこだったかな  
あの祠  
ほこら



ボクは  
そのお姉さんに

お姉さんとボクは  
日が暮れるまで  
お喋りをした



その日から

あつという間に  
夢中になった



でも  
その後…

お姉さんは  
ボクの  
憧れの人で…  
スス…ッ



ボクはきれいな  
お姉さんと出会ったんだ



ボクは蛇に腕を噛まれちゃって

湊!

泣いてるところをおじいちゃんが  
見つけてくれたんだ

それで

それで…

あれ?

それから  
お姉さんとは

どうなったんだっけ…?

思い出せないや



チャンスは今しかない…!

確かこの辺だった  
ような…

あ!

明後日には  
東京に戻らなきゃ  
いけない

じーちゃんばーちゃんには  
一人で山の中に行くなんて  
強く言われてるけど

ボクももう  
×年生だし

きっと  
大丈夫

会いたいんだ  
どうしても



この傷跡を  
見る度に

あの夏の事を  
思い出すんだ…

お姉さん…

不思議なことに  
蛇に噛まれた傷跡は  
ずっと消えないまま



ここでボクとお姉さんは…

懐かしいなあ…  
ちょっと汚れてるけど昔と変わってない



この祠だ!

これだ!



もしかして…!

え…っ  
うそ…  
この声は…

ドクン

あら…?  
キミは…



お姉さん!  
ほおおっ



ですね

お久しぶり



湊くん…  
ですよね?



また会えた…!!



昔の記憶と  
同じ…

キレイ…



お姉さんに  
そう言って  
もらえるなんて…

むず痒いや

えへへ…

昔と全然  
変わってないですね

…その、  
お姉さんは

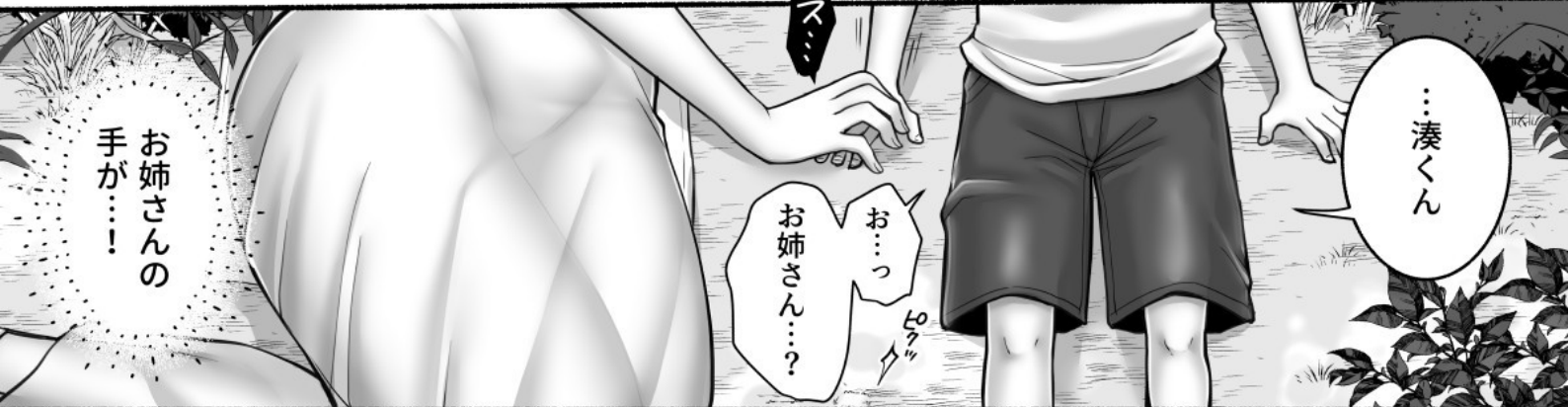


暫く見ないうちに  
大きくなりましたね

こんなにも  
立派に育って…

えっ

そうですか？



お姉さんの  
手が…!

お姉さん…?

お…っ

ぽっ

…湊くん

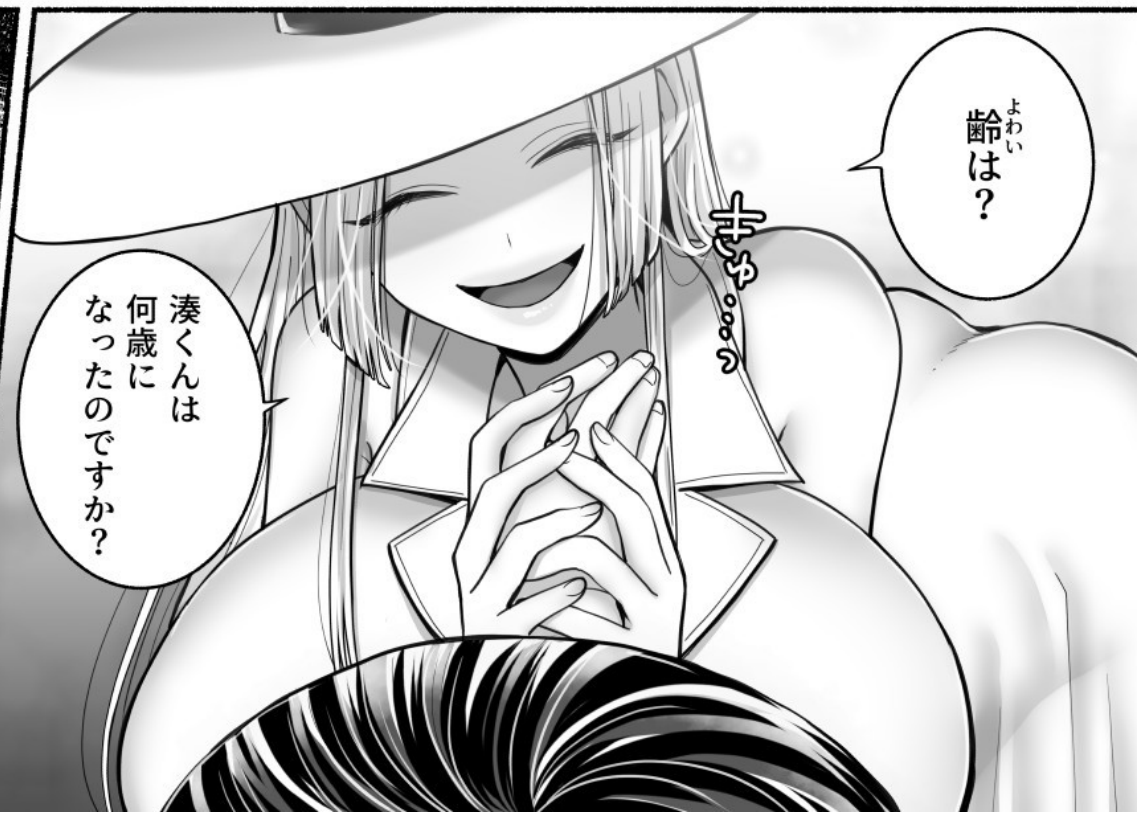


よわい？

あっ

難しい  
言い回し…

えっと…



よわい  
年齢は？

湊くんは  
何歳に  
なったのですか？



…そう



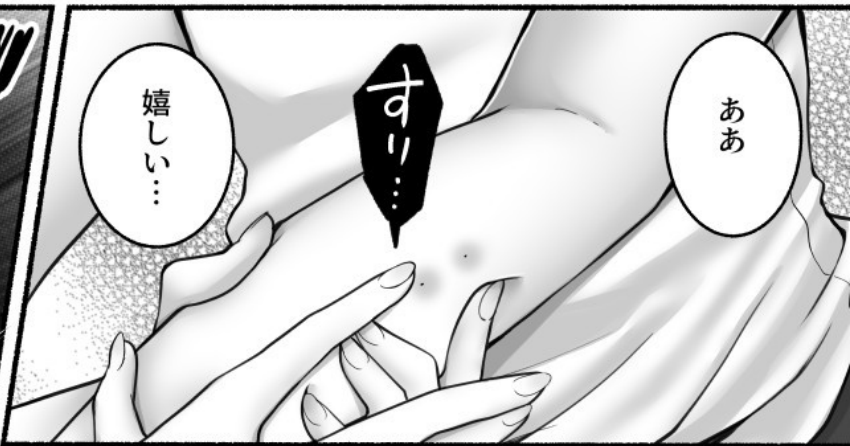
1●歳になりました

ボク



ようやぐ…

あ…っ



嬉しい…

す…

ああ



私の伴侶にする刻が来たのですね

え…?

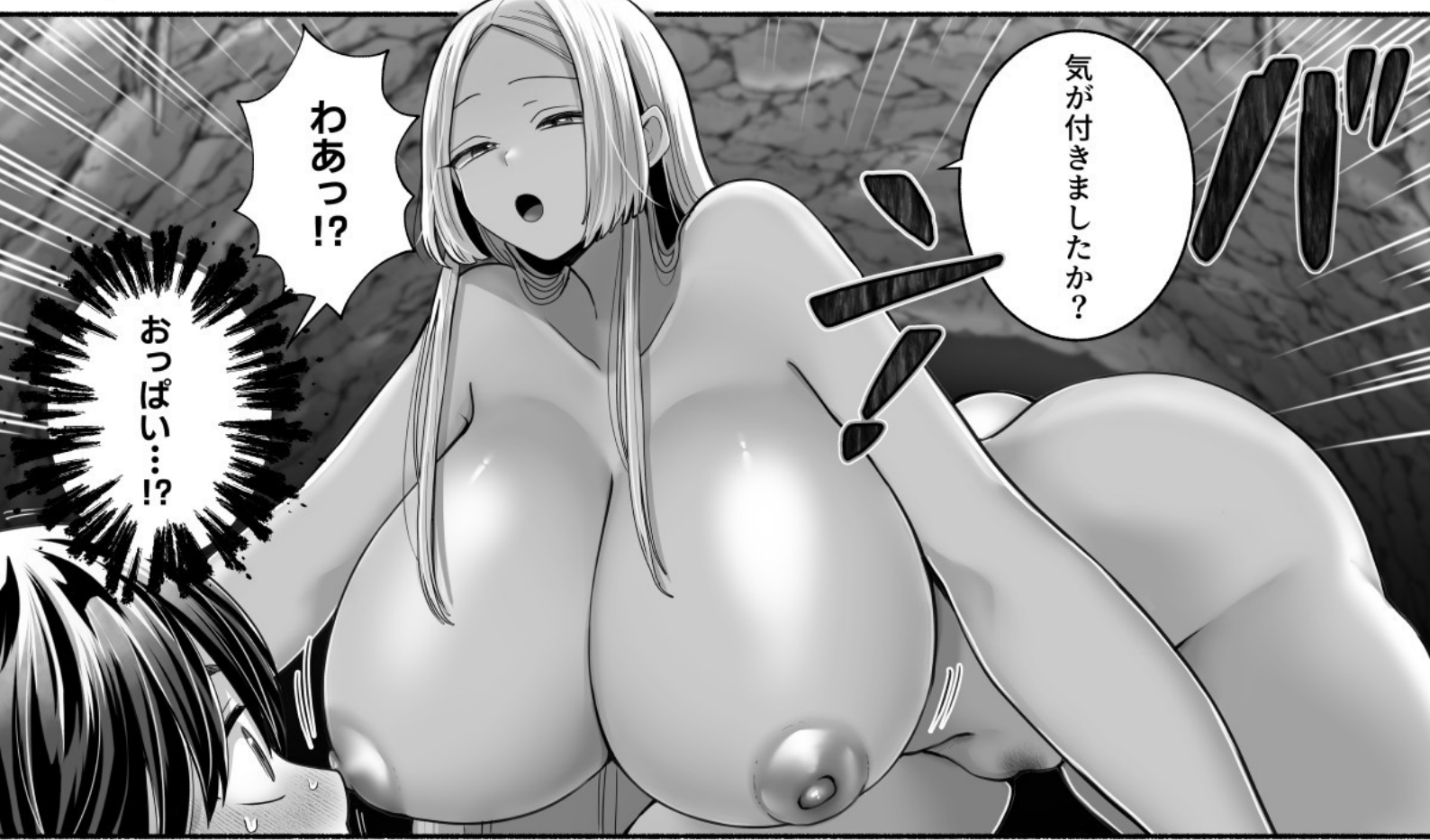


あれ…?  
ボク眠って…

ん…

おろろろ…  
おろろろ…

湊くん



気が付きましたか?

わあっ!?

おっぱい…!?

バ



…って  
ボクも  
ハダカに  
なってる!?

その…っ  
ハダカ…っ

どうしたんですか…!?

えっ?  
なに…っ!?

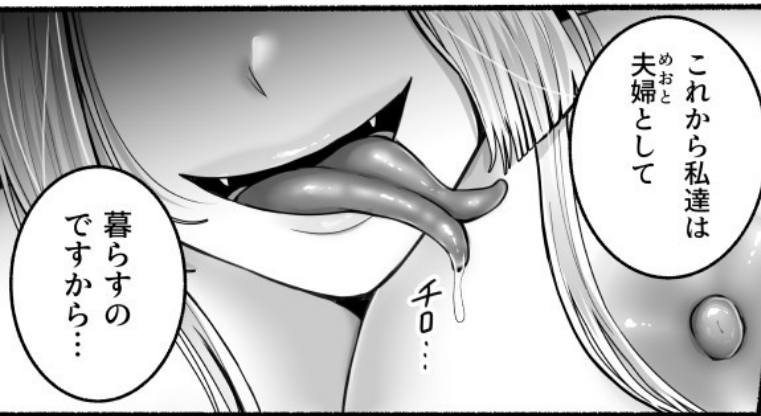
ど…  
どうして…っ  
たら…



なんて  
愛らしいの  
でしょう…

母以外の  
女の裸を見るのは  
初めてですか？

あ…っ



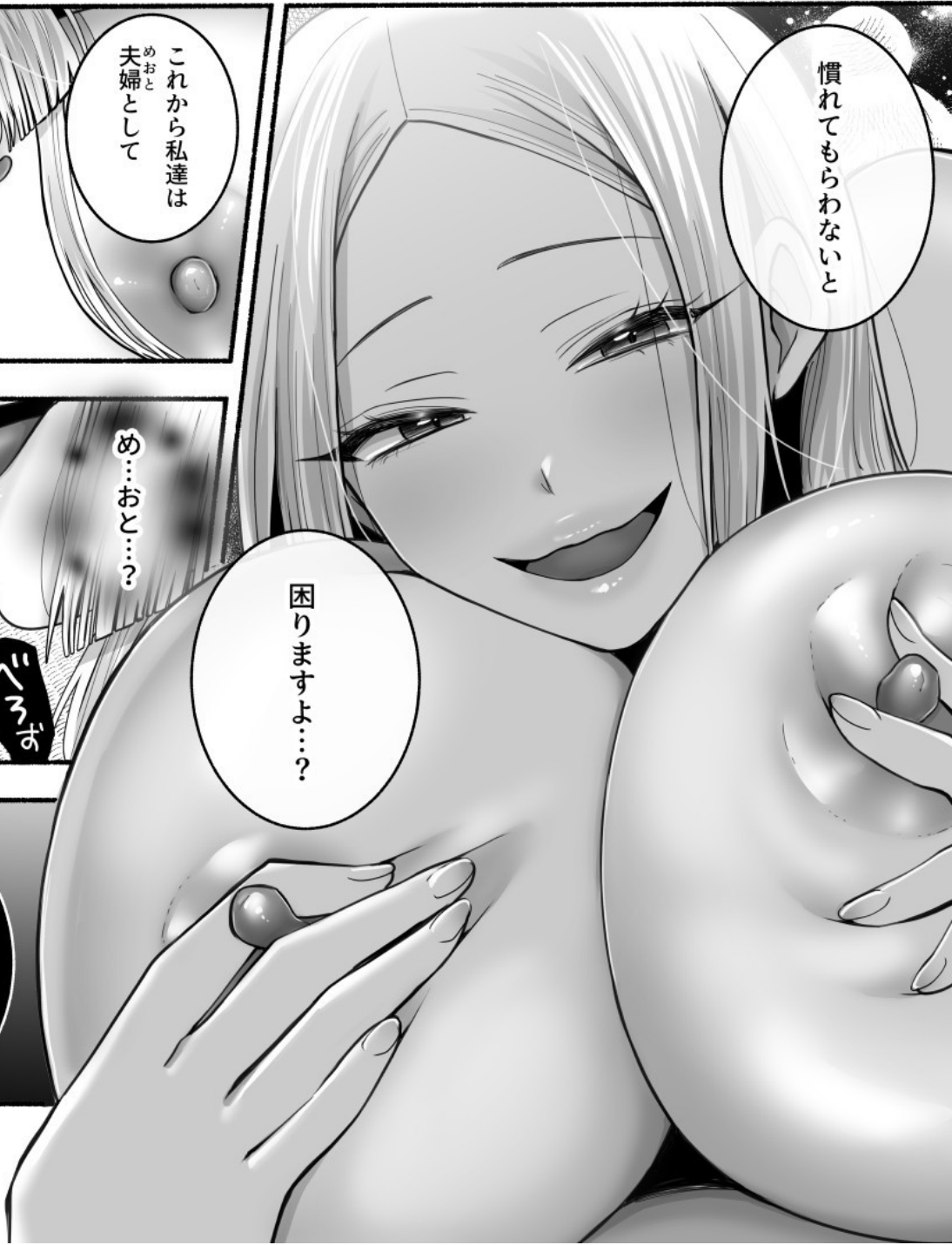
これから私達は  
夫婦として

暮らすの  
ですから…



め…おと…っ

あっ…

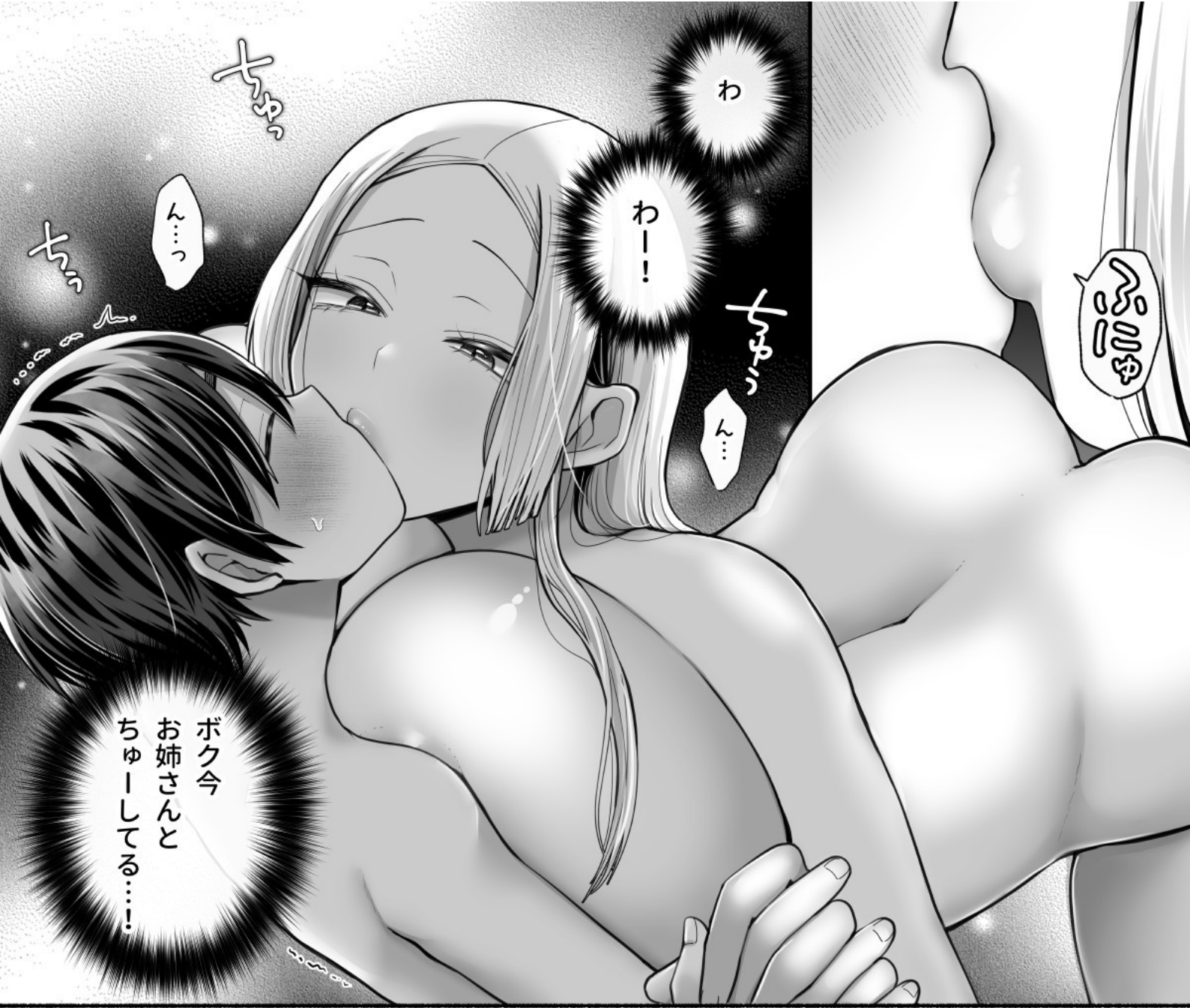


慣れてもらわないと

困りますよ…？

さあ…  
夫婦の契りを

交わしましょう



ん…っ

ん

ん

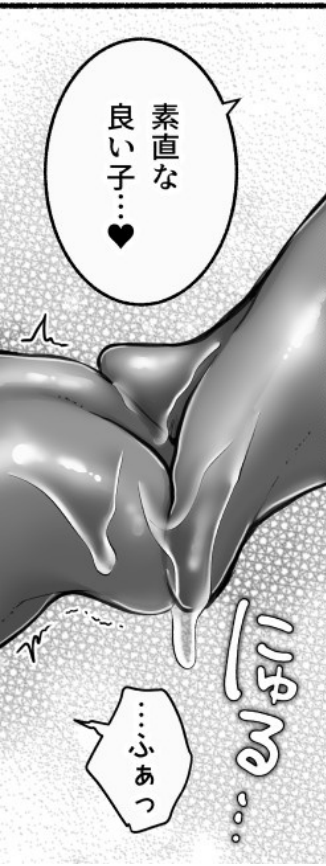
わー！

わ

ん

ん

ボク今  
お姉さんと  
ちゅーしてる…！



素直な  
良い子…♥

ん



ん

ん

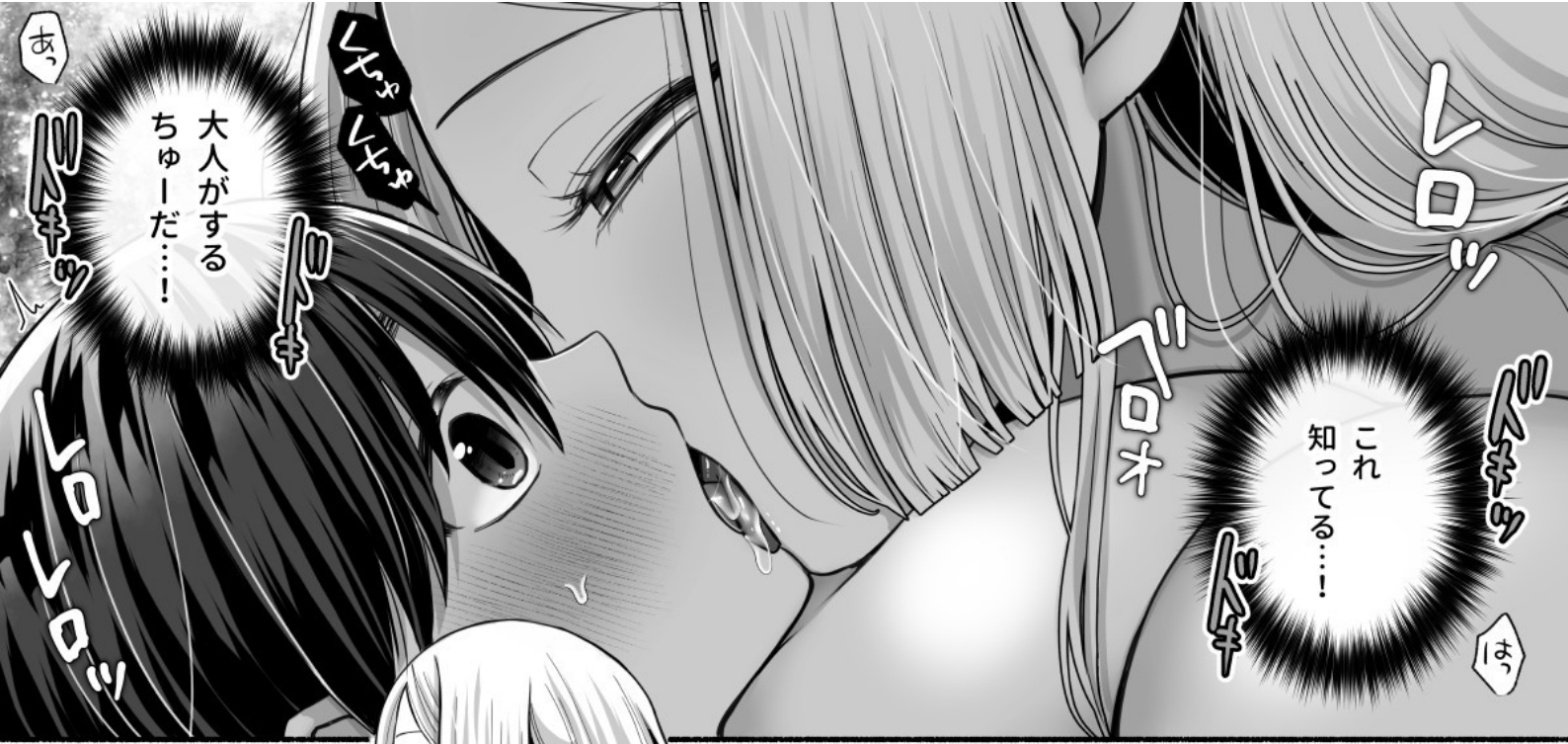


ん

湊くん  
お口あーんして

舌を出して  
くれますか？

ん



あ、  
大人がする  
ちゅーだ…!

これ  
知ってる…!



いいのかな  
お姉さんと  
こんなことして…



パパとママに  
怒られちゃったり  
ぶっしゅりゅ…

公同士を  
シロシロするや…

背中が  
びびる





んはあ

ぬる

湊くん  
どうしました？

苦しかったですか？

あっ

はっ

はっ

お姉さん...

どうしよう...

ボクのおちんちん  
おかしい...

むす

むす

むす

むす

変に  
なっちゃった...

むす



でもそれは  
些細なこと…

私がすぐに  
湊くんを

大人にして  
差し上げますから…

えっ…!?

あ…

ちんちんの  
先っぽ…っ

にゅ

出てき…っ

っ…っ



なにこれ

じっ

いだい

いだいいい

なにこれ

なにこれええっ

いだいいい





ぼくのちんちん  
いつもと全然違う…っ

固くて  
おっきさ…っ

それに  
このちんちんの  
先っぽ…

パパの  
ちんちん  
みたい…!

このズル剥け状態が  
大人のおちんちん  
なんですよ

そう

これが…  
大人の…っ!

ふぁあ、  
ビクビク



お姉さん…っ

お姉さんが  
ボクのちんちんを

大人のちんちんに  
してくれた…!

あ…

あ…  
は…

偉いですよ

よく痛いのを  
我慢しましたね

すい...

あ...

お姉さ...

痛いのは  
ここで終わりです

ここからは  
気持ち良いことが  
待っていますから

安心して  
身を任せて  
くださいね

男女の交わりは

とおーっても  
気持ちが良いんですよ

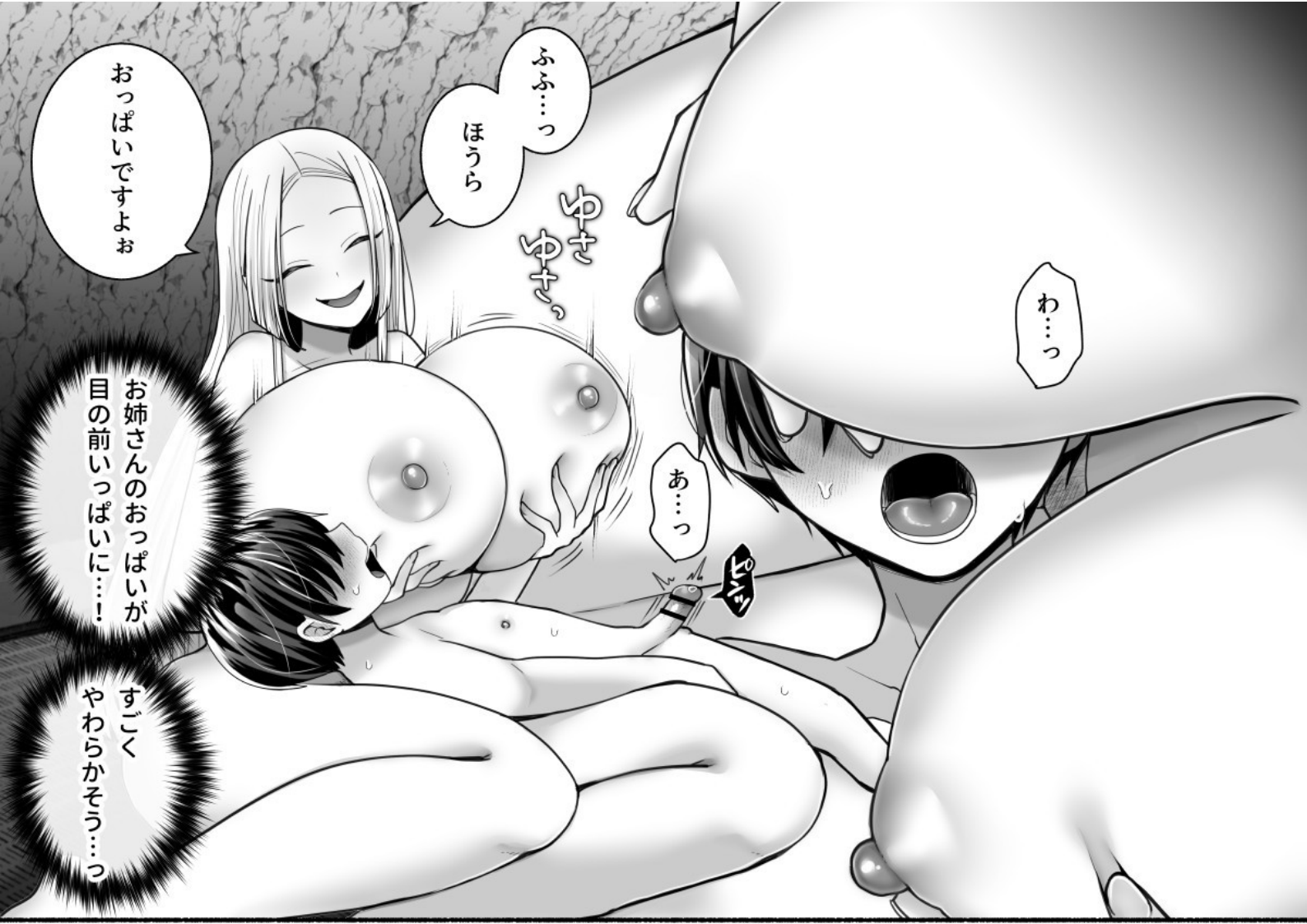
何...?

何が  
始まるの...!?

ドツ

ドツ

キヤウ...



おっばいですよお

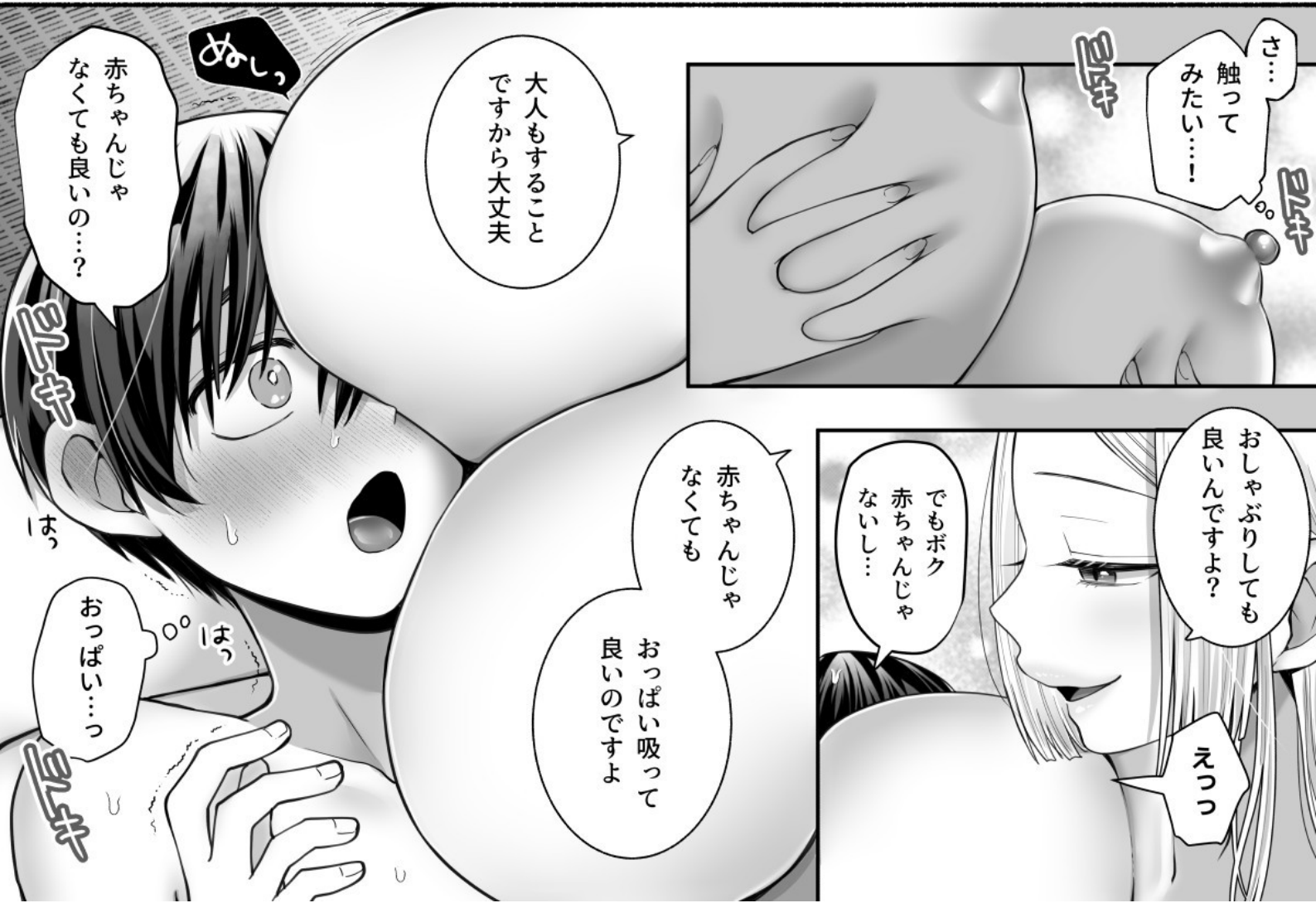
ふふ...  
ほろろ

わ...っ

お姉さんのおっばいが  
目の前いっぱい...

すくく  
やわらかそう...

あ...っ



ぬい  
赤ちゃんじゃ  
なくても良いの...?

大人もすること  
ですから大丈夫

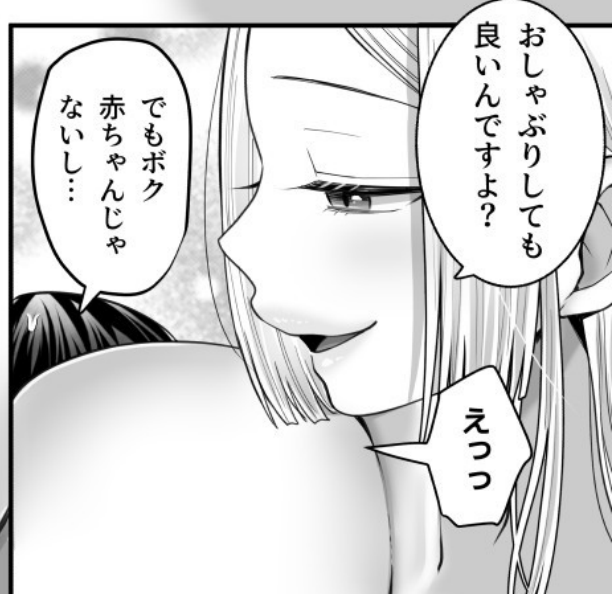


さ...  
触って  
みたい...!



おっばい...っ

赤ちゃんじゃ  
なくても  
おっばい吸って  
良いですよ

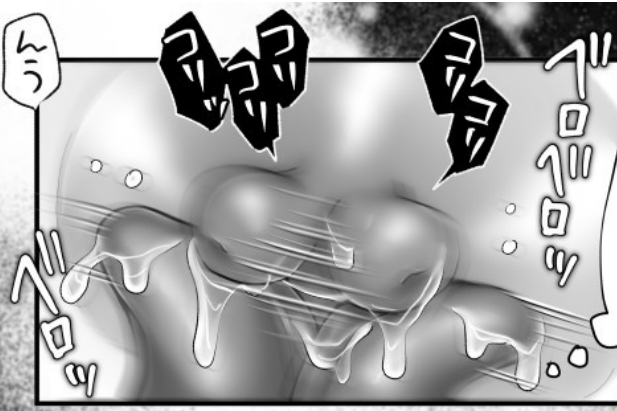


でもボク  
赤ちゃんじゃ  
ないし...

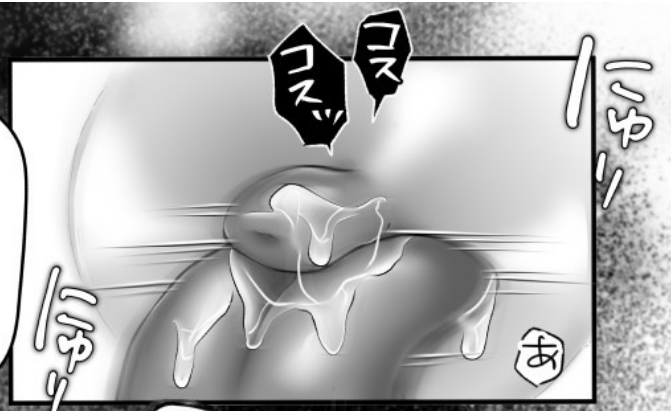
おしゃぶりしても  
良いんですよ?

えっっ





乳首が  
こりこりって  
固くなってく...



お姉さんの  
この声を聞くと...

ちんちんが  
ガチガチになる...

ああ...♡

湊くんとっても  
上手ですね...♡

はあ...

お姉さん...

お姉さん

お姉さんの声が  
一段と...

!



うれしいっ!!



お姉さんに  
褒めてもらえた...

さすが私の  
おのこ  
伴侶となる男子...♡





ビクビクって  
すわっ♡

身体が  
ビクビクって♡

なにこれえ…っ

おっすっ

おっすっ

淫乱な方…♡

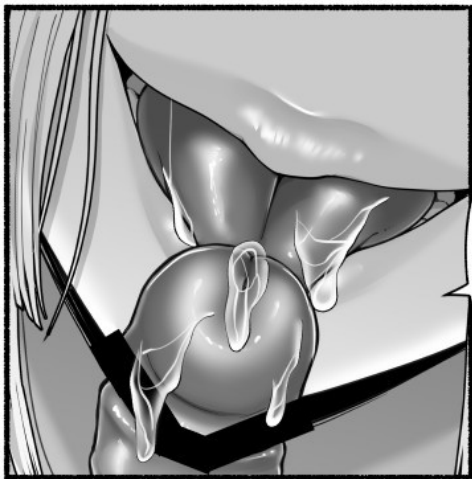
あらあら  
自ら腰を  
振って…

腰とまんな…っ

うっすっ

でも…





初めての快感に  
びっくりしちゃい  
ましたかね…?

でも…  
更に強い快感が

やってきますからね



ははっ

お姉さんが

ボクの  
ちんちんを…っ!?



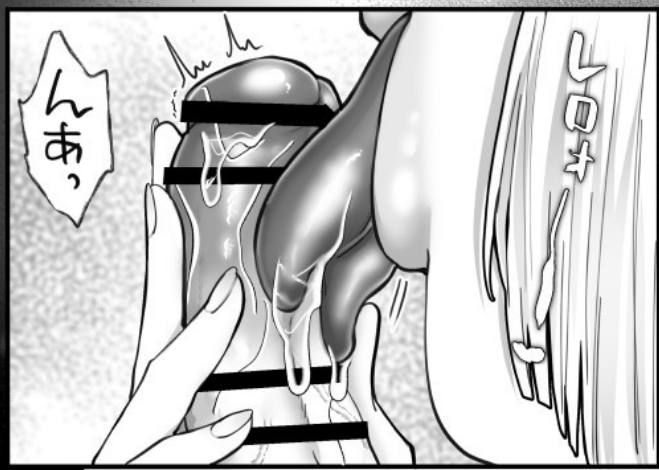
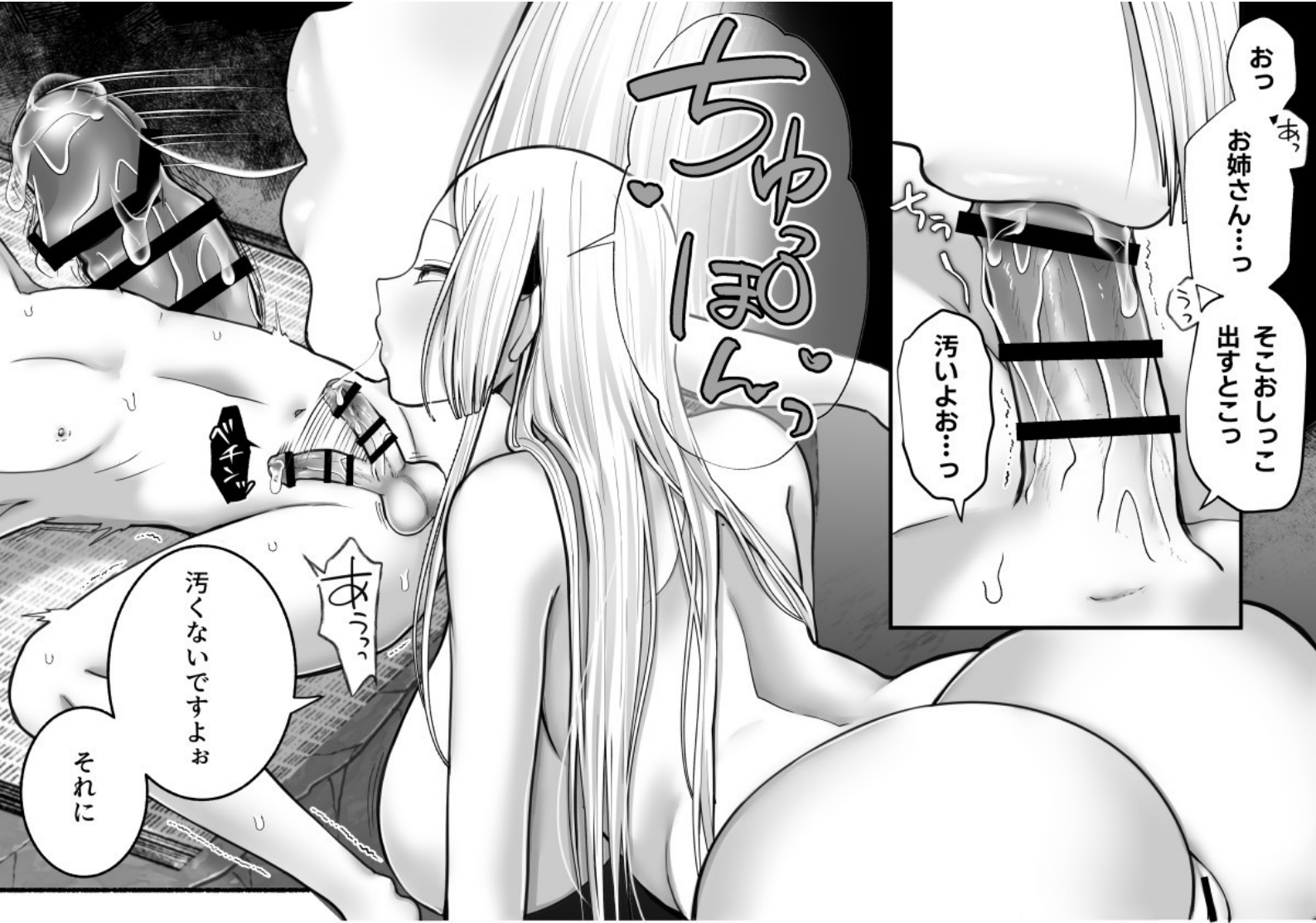
え…っ

ははっ

うそ…っ

ははっ

ははっ



お姉さんの口の中  
熱っつい……!

ベロがちんちんに  
グルグル巻き付いて  
ニユルニユルって……

お姉さんのベロって  
こんなに長い……?

何か変……っ



巻き付いて……?

え……?



爆発しちゃう  
だよお……っ

今は  
ちんちんのことしか  
考えられな……っ!

でも……  
でも……

金玉  
きゅ……っ  
きゅ……っ

金玉  
きゅ……っ  
きゅ……っ

ニユルニユル  
ニユルニユル

ニユルニユル  
ニユルニユル

ああ





おね...さっ...

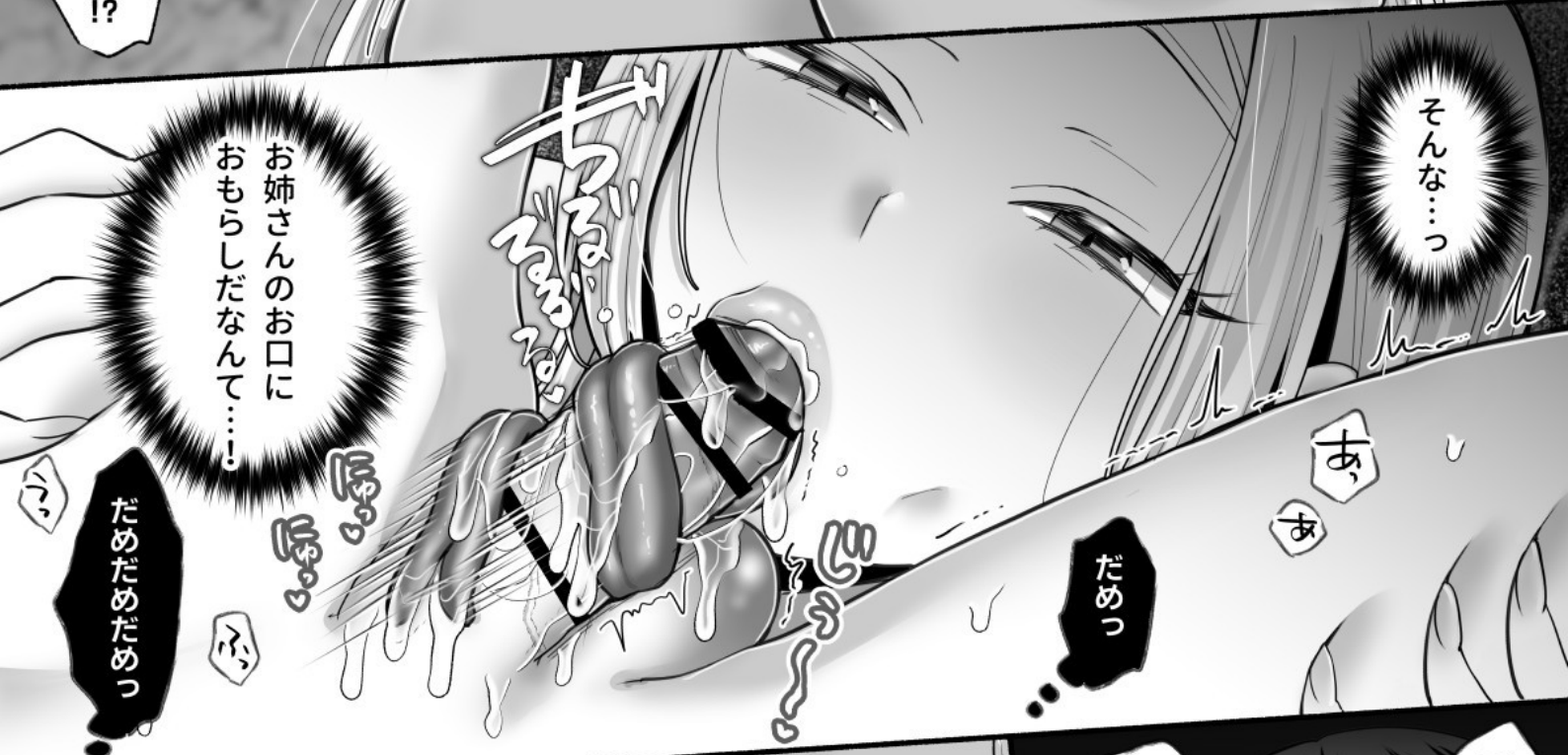
ボク おもらししちゃ...

大丈夫ですよ

ほら

お姉さんのお口の中におもらししちゃってください

ええっ...!?

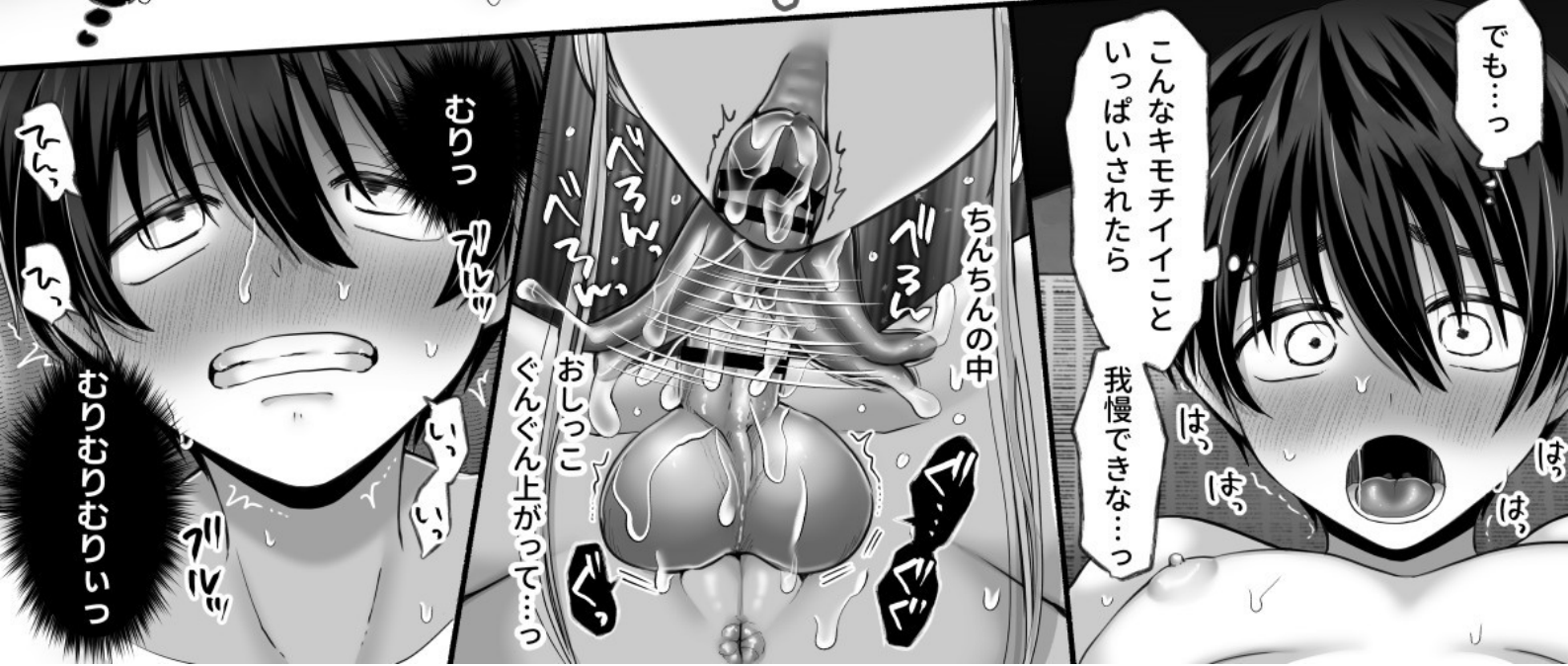


そんな...

お姉さんのお口におもらしだなんて...

だめだめだめっ

だめっ



でも...

こんなキモチイイこと いっぱいされたら

我慢できな...

ちんちんの中

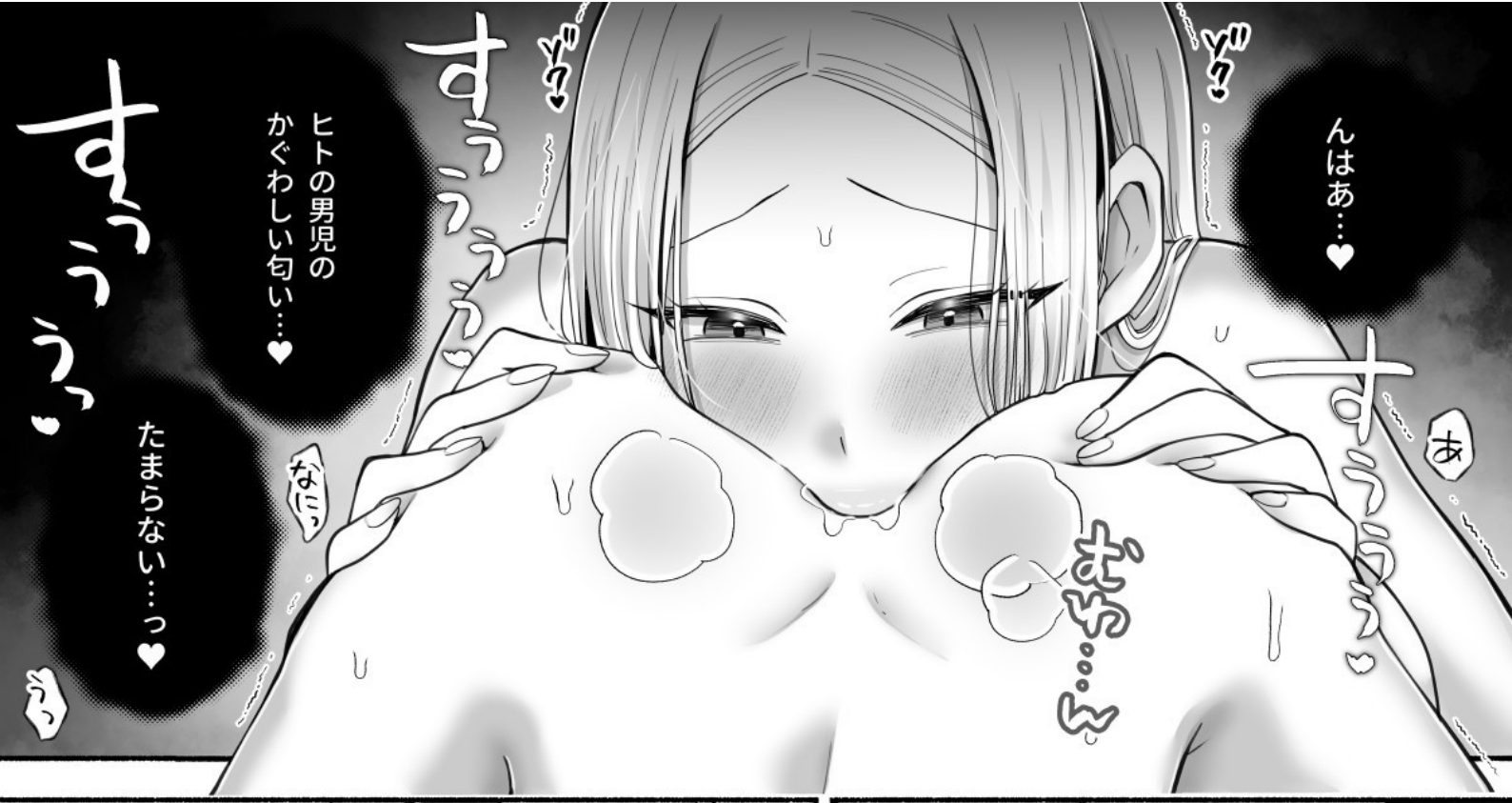
おもらし...  
おんこが...  
おんこが...

おもらし...  
おもらし...  
おもらし...









んはあ…♡

ヒトの男児の  
かぐわしい匂い…♡

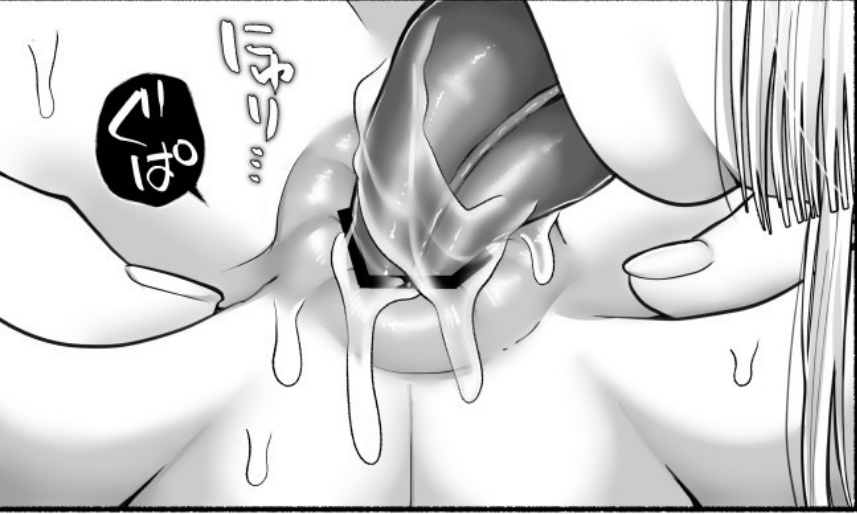
たまらない…っ♡

すっぴんっ♡

すっぴんっ♡

おっ♡

すっぴんっ♡



おっ♡

おっ♡



隅々まで  
味わわせて  
もらいますねえ…っ♡



んほおっ♡

おっ♡

おっ♡





グリグリ  
されると

ズシュー  
ズシュー  
ズシュー

ズシュー

おおおおお

ユルル...

ズシュー

変な声出るっつ

な...に...?

身体全体が  
ビーンってなる...

ほっ

おはあー

おはあー



おはあー

知らないっつ

おはあー

おはあー

こんな  
キモチイイの  
知らないっつ

こんな...



気持ち良い  
ですよねえ...♡

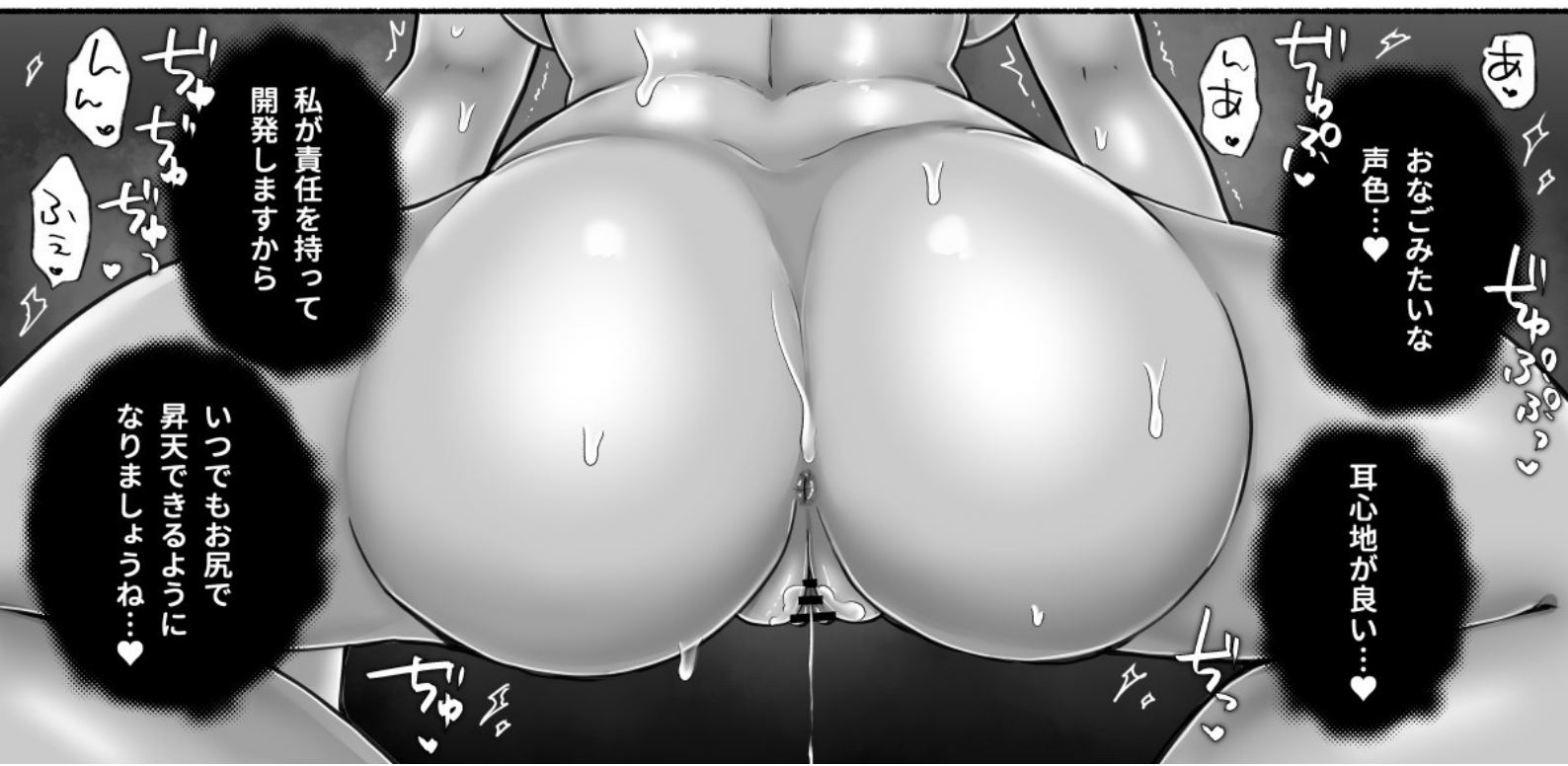
くっくっくっ

はっはっはっ  
はっはっはっ  
はっはっはっ



はっはっはっ  
はっはっはっ  
はっはっはっ

そんなに身体を  
こわばらせて♡  
締め付けてきて  
舌が干切れそう...♡



あーっ  
おなじみみたいな  
声色...♡

耳心地が良い...♡

私が責任を持って  
開発しますから

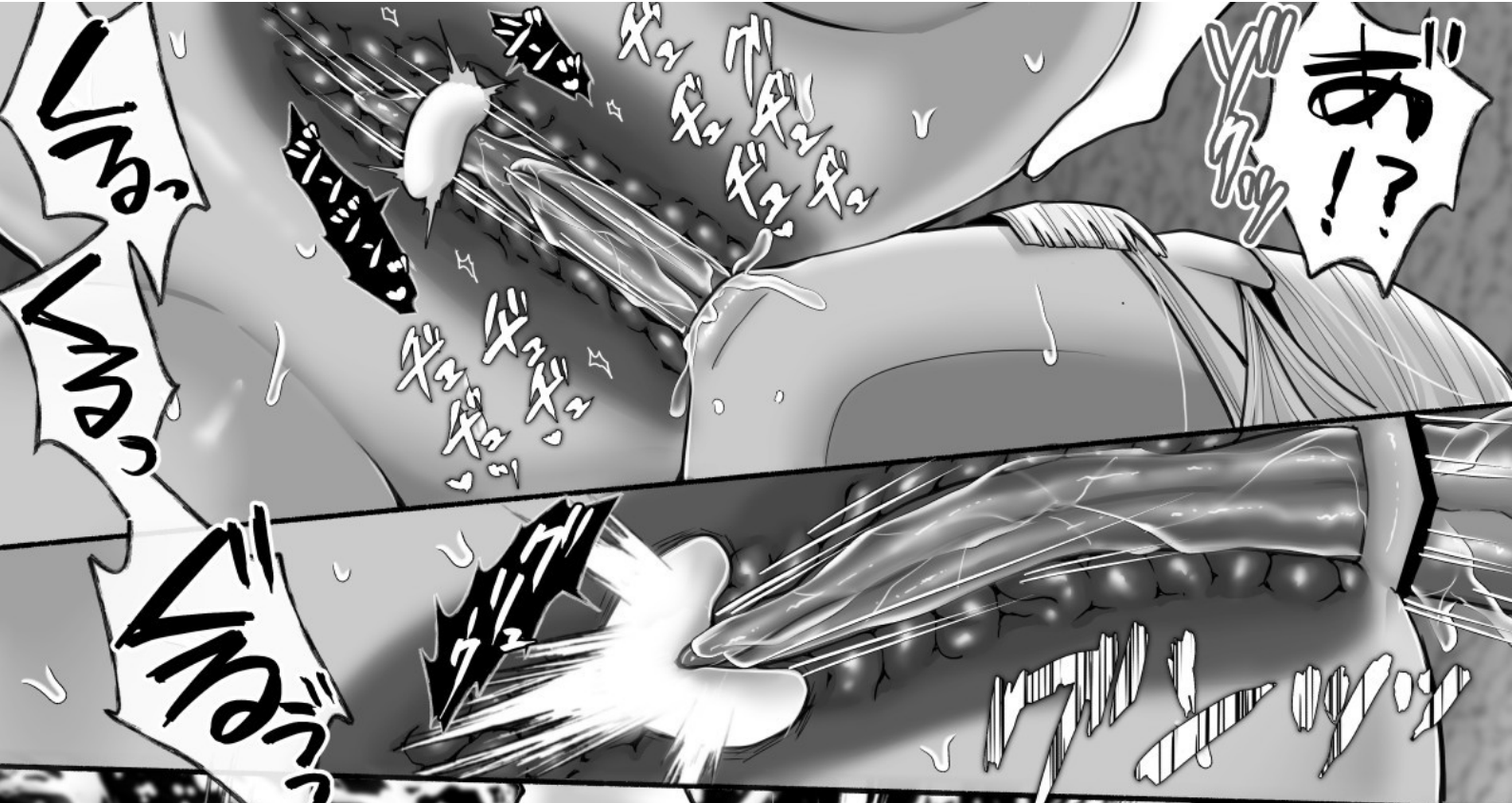
いつでもお尻で  
昇天できるよう  
になりましょうね...♡

はっはっはっ  
はっはっはっ  
はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ









ほら

見えますか…？

湊くん…♡

お…おね…さ…

はあ…はあ…

お姉さんのおまんこ

湊くんがとてまえっちなので

こんなになってしまいましたよ…？

は…あ…っ

なあに…これ…



ママの  
お股と違う…

真っ赤に  
腫れ上がってて

トロトロで  
キラキラ光ってて…

それに穴…？が  
パクパクしてて

吸い込まれそう…

湊くん…

舐めてみますか？

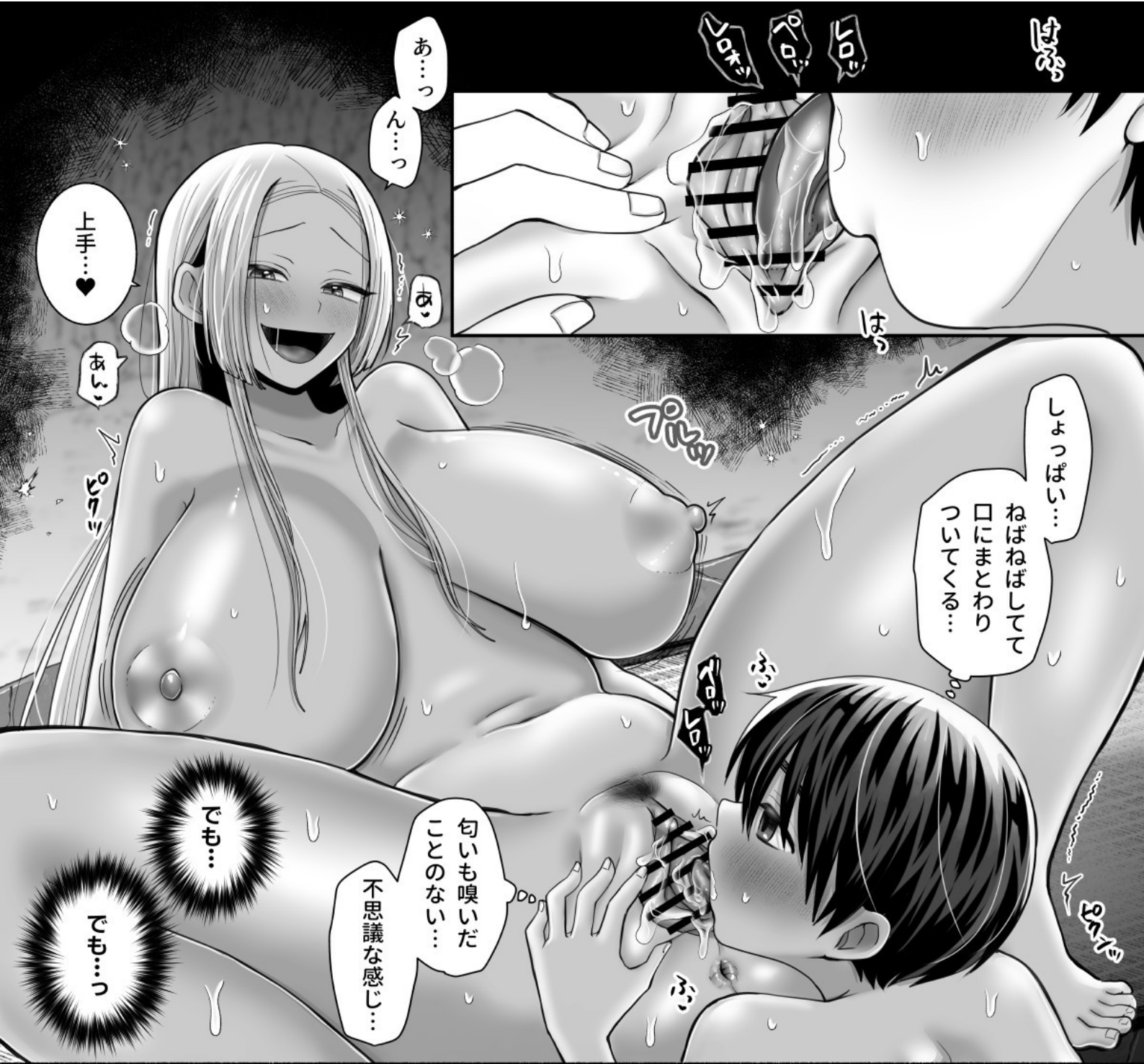
おは  
おは

おは  
おは

おは  
おは

ぬち…

おは

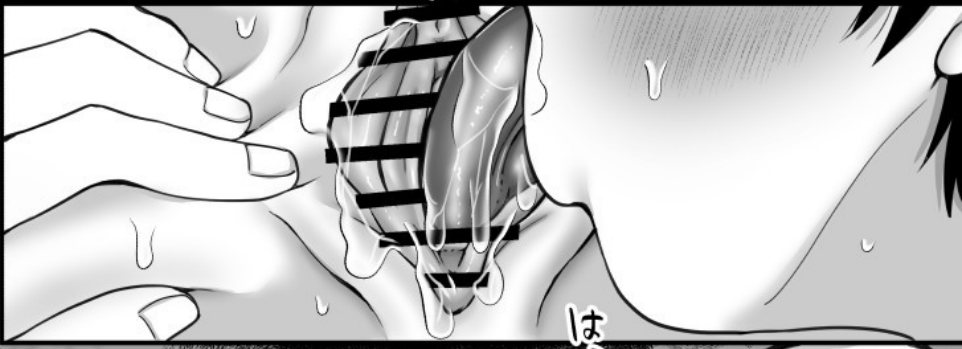


あ...っ  
ん...っ

上手...♥

あ...っ

あ...っ



しゃぶしゃぶ...  
ねばねばしてて  
口にまわり  
ついで...っ

あ...っ

匂いも嗅いだ  
ことのない...

不思議な感じ...

でも...

でも...



クセになる...っ

むしゃぶり  
つきたくなる...っ

ふふっ♥  
ふふっ♥

夢中に  
なっちゃって...♥

あ...っ





あはあはあ

イッてしまっ...っ♡

こんなの  
すぐに

あはあはあ

あはあはあ

ダメ

ああ

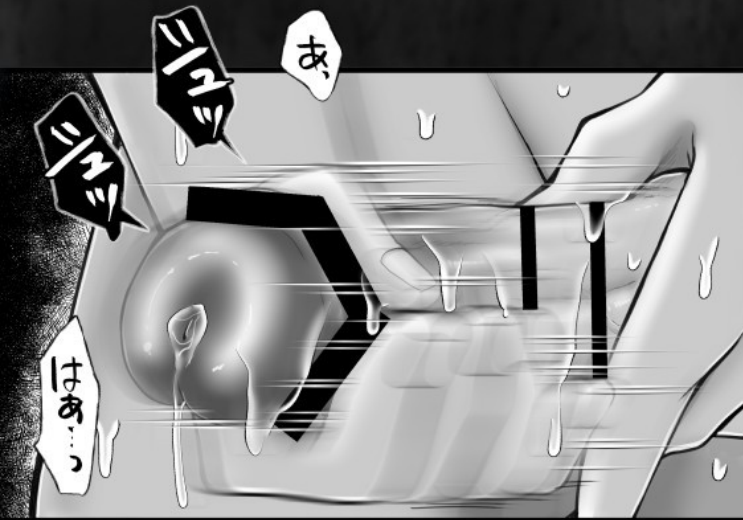
あはあはあ

あはあはあ

あはあはあ

あはあはあ

あはあはあ



さあ

旦那様……♡

私の中へ  
いらっしやろ？

おはな  
おはな

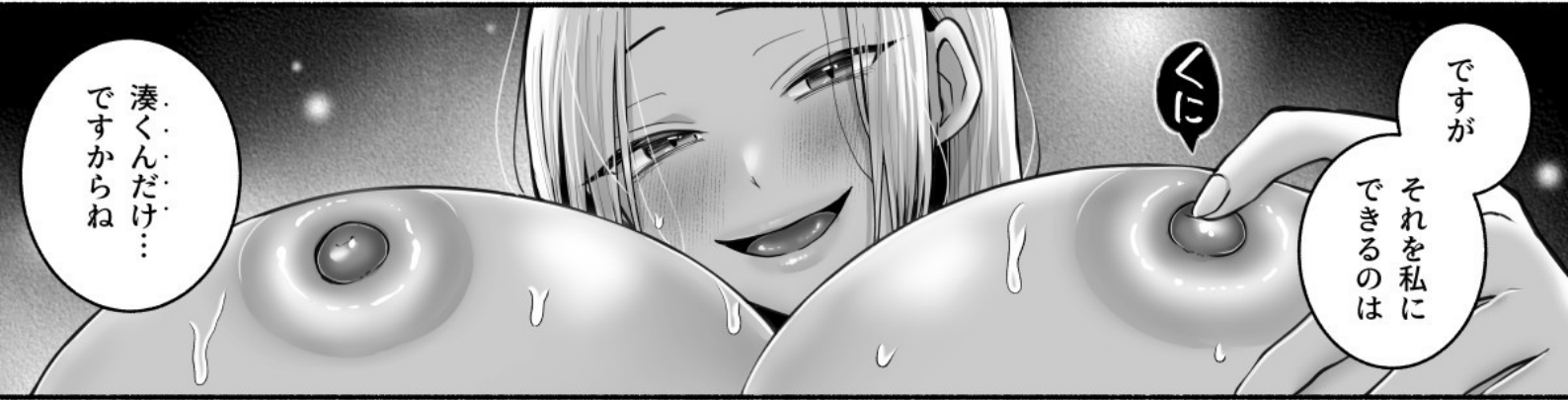




ここにちんちん 入れているの...?

おねえさ...

ええ もちろん



ですが それを私に できるのは

湊くんだけ... ですからね



挿れたい...っ

挿れたい...っ!!



ボク...だけ...

それってボクが お姉さんの旦那さんになるから...っ

はー





おねえさんの  
お股の中熱い...っ

ボクのちんちんを  
うねうねが包んで

トロトロが  
まとわり  
ついてくる...っ

ああ...♡

まごころ  
目合...♡

これが  
湊くんの...♡

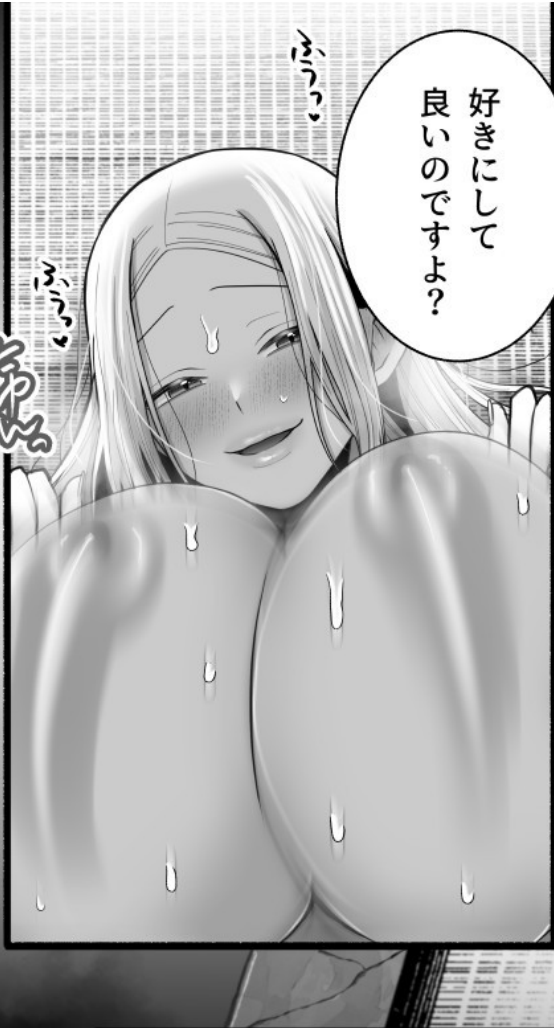
未熟で小ぶりだけど  
固さがあるって

青々しい若さを  
感じる...♡

あ...っ

あらあ...っ





好きにして  
良いのですよ?



なにを  
謝っているのです

私は貴方の  
妻となるのですから

腰が勝手に  
動いちゃ...っ

うめりな...っ

うめりな...っ



おねえさ...

お...



成長が  
楽しみ...♡



へろへろな腰使い  
全然ダメ♡

でも一生懸命で  
愛おしい♡

うめりな...っ

かわいい♡

かわいい♡

これから毎日  
色んな性技を

仕込んで  
あげますからねえ...♡

うめりな...っ

うめりな...っ



またっ

また出る...っ

グワッ

またっ



白の  
出ちゃっ...っ

グワッ

出っ  
くたれ...っ

お姉さんに  
種付けして  
くださ...っ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

おねえ...っ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ



グワッ

グワッ

グワッ



グワッ

グワッ







嬉しい…

ああ…

私達はひとつになつたのですね…♡

ムムム

ムムム



おねえさ…っ

これで晴れて夫婦に…♡

ははは

ははは

ははは

ムムム

ムムム





ああ

うれし〜♡

うれし〜♡

ばちゅっ♡

ばちゅっ♡

ばちゅっ♡

おねじ

たああん…っ

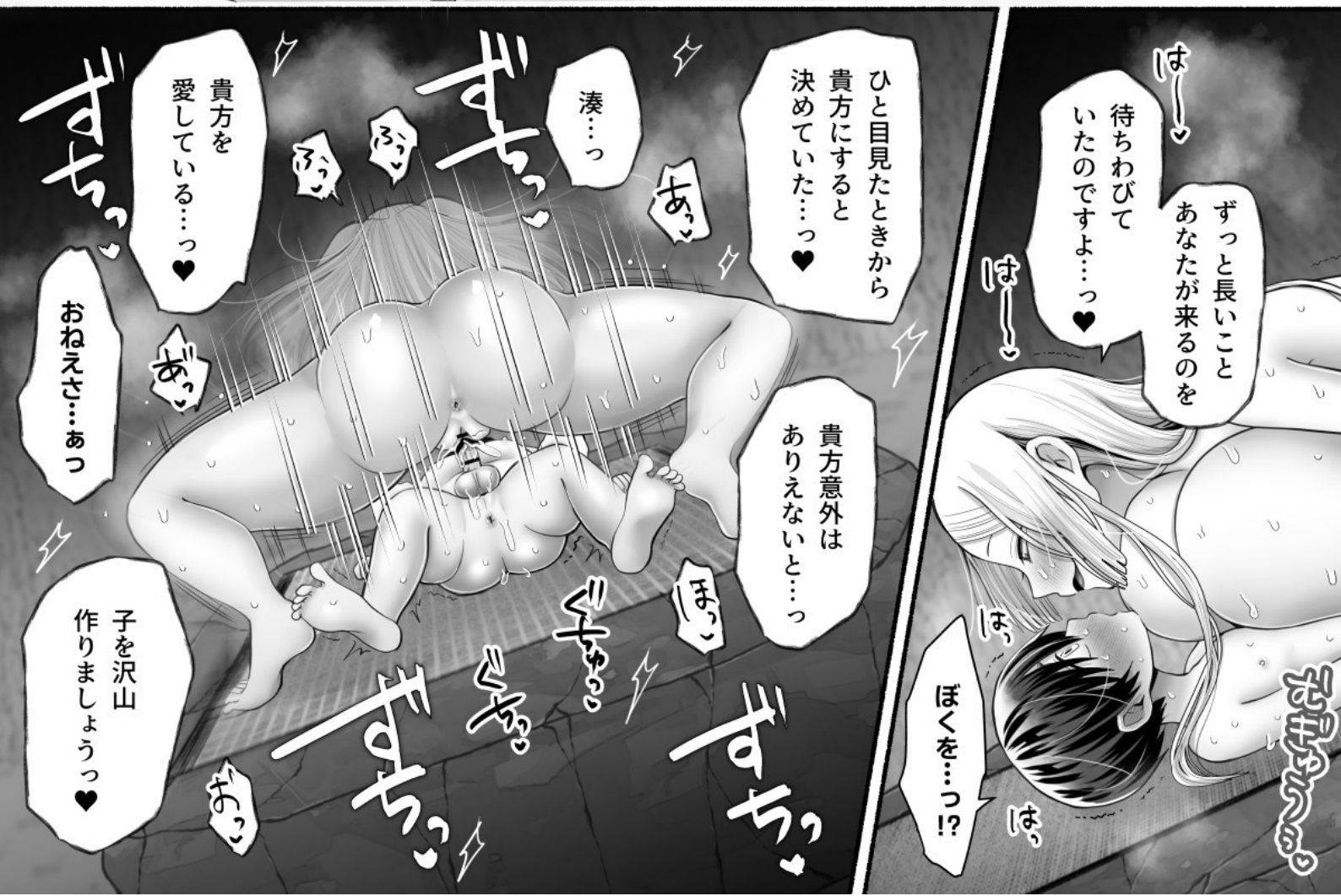
あゝ

ニ

あゝ

あゝ

あゝ



は

待ちわびて  
いたのですよ…っ♡

ずっと長いこと  
あなたが来るのを

は

ぼくを…っ!?

ひと目見たときから  
貴方になると  
決めていた…っ♡

貴方意外は  
ありえないと…っ

湊…っ

貴方を  
愛している…っ♡

おねえね…あっ

子を沢山  
作りましょうっ♡

あゝ

あゝ

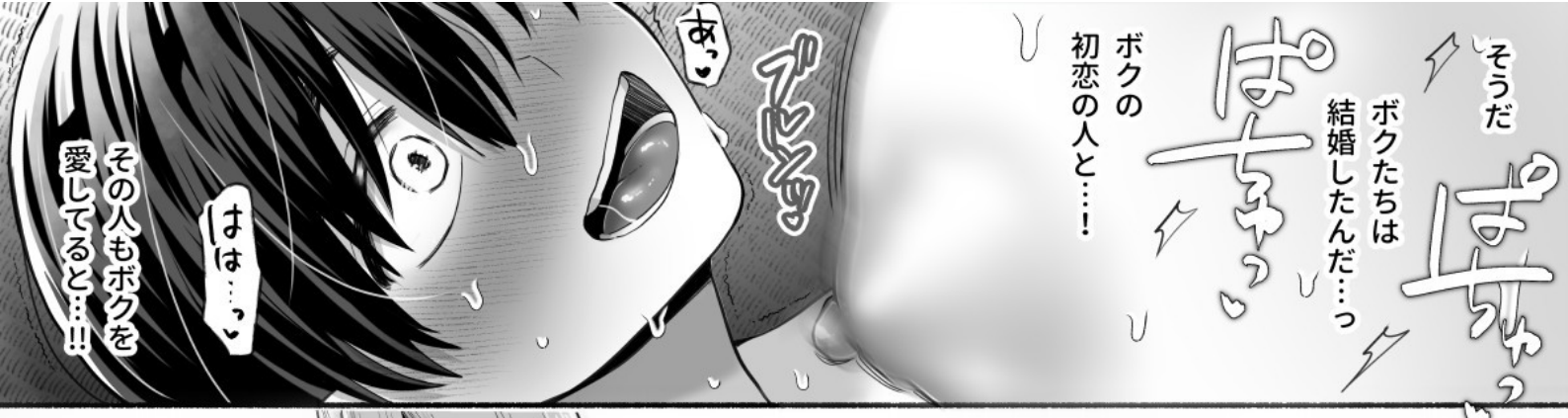
あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

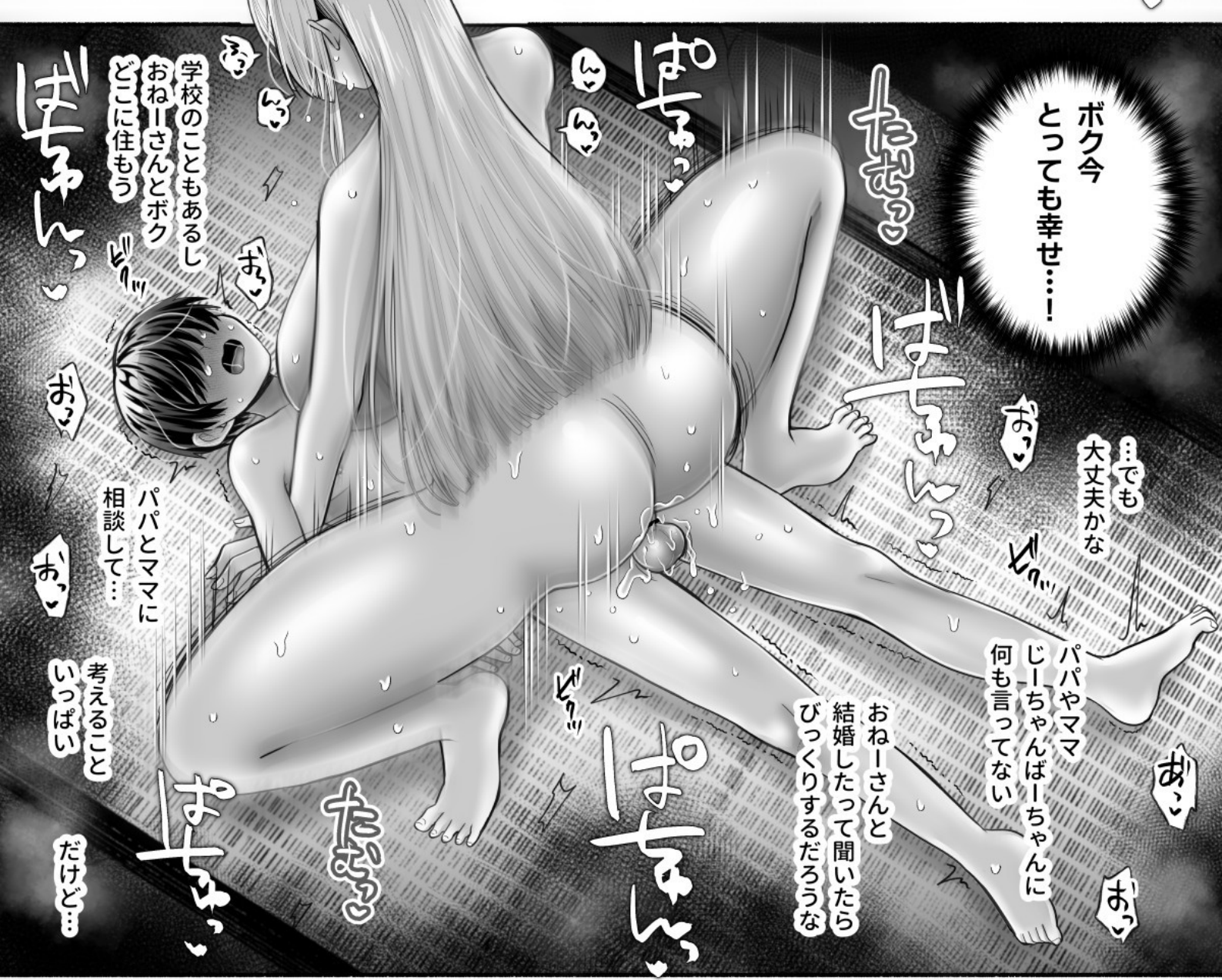


そっだ  
ポクたちは  
結婚したんだ…っ

ボクの  
初恋の人と…!

はは…

その人もボクを  
愛していると…!!



ボク今  
とっても幸せ…!

でも  
大丈夫かな

パパやママ  
じーちゃんばーちゃんに  
何も言っていない

おねーさんと  
結婚したって聞いたなら  
びっくりするだろうな

学校のこともあるし  
おねーさんとボク  
どこに住もう

パパとママに  
相談して…

考えること  
いっぱい

だけど…



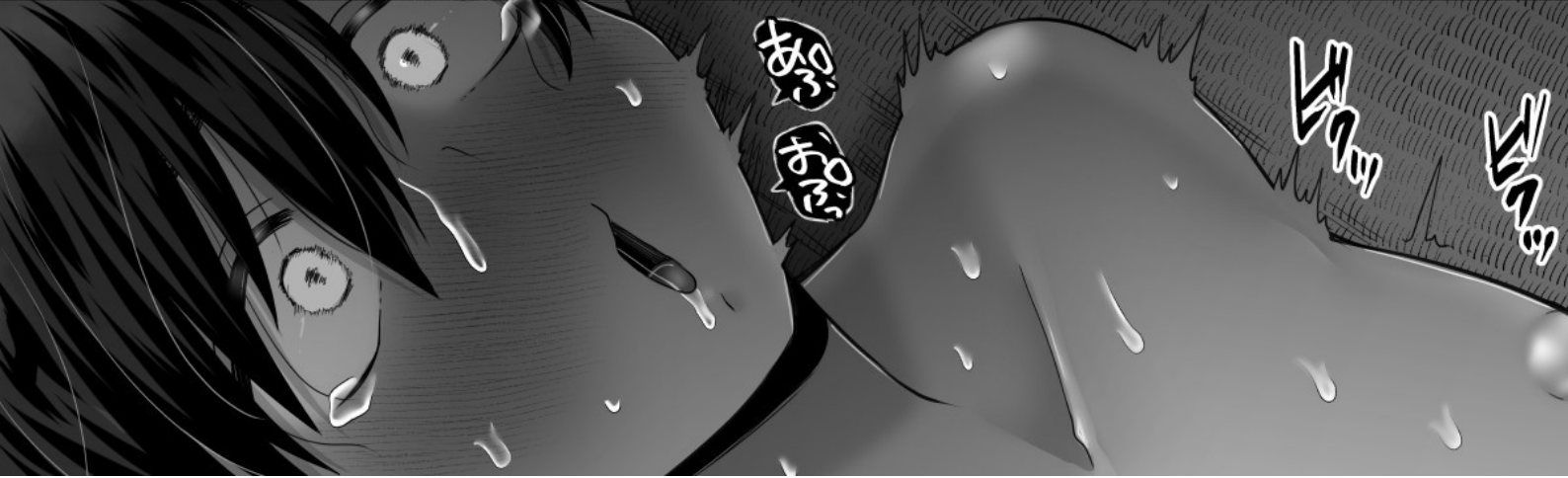
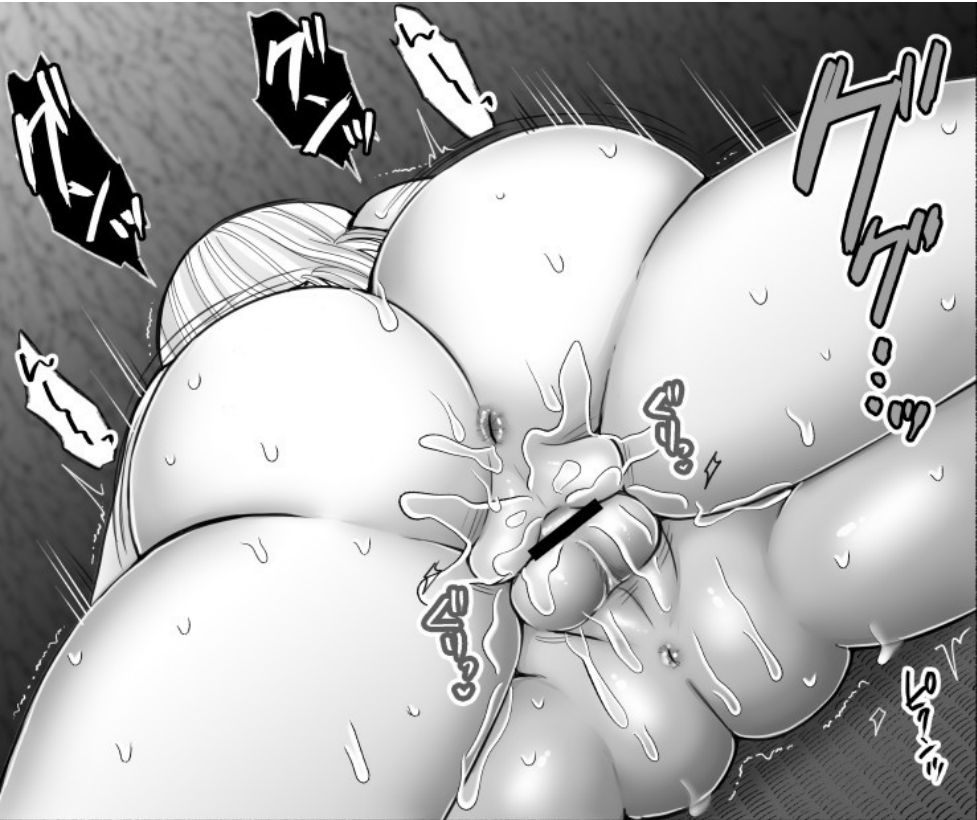
今はもう…

キモチイイしか  
考えられない…!

まあいつか









しめわせっ♡

おねーさんと  
一緒に暮らすっ♡

ほく…

ほく…

ずっと一緒に  
いるんだ…っ♡

絶対  
離れない…っ♡

何年も会いたかった  
大好きなおねーさんっ♡

ボクが  
オムコさんで…っ

おねーさんが  
おヨメさん…っ

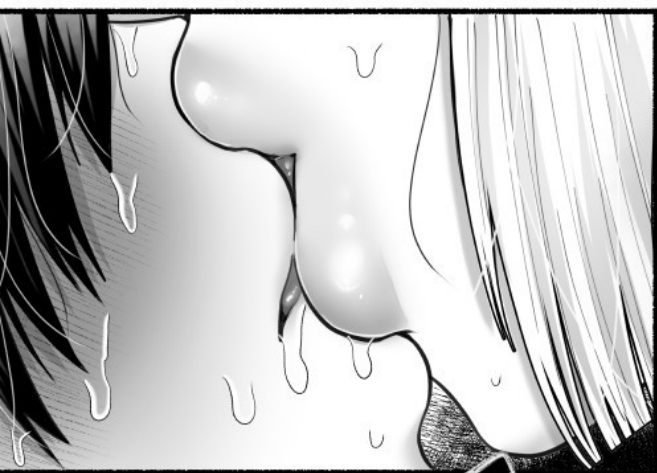
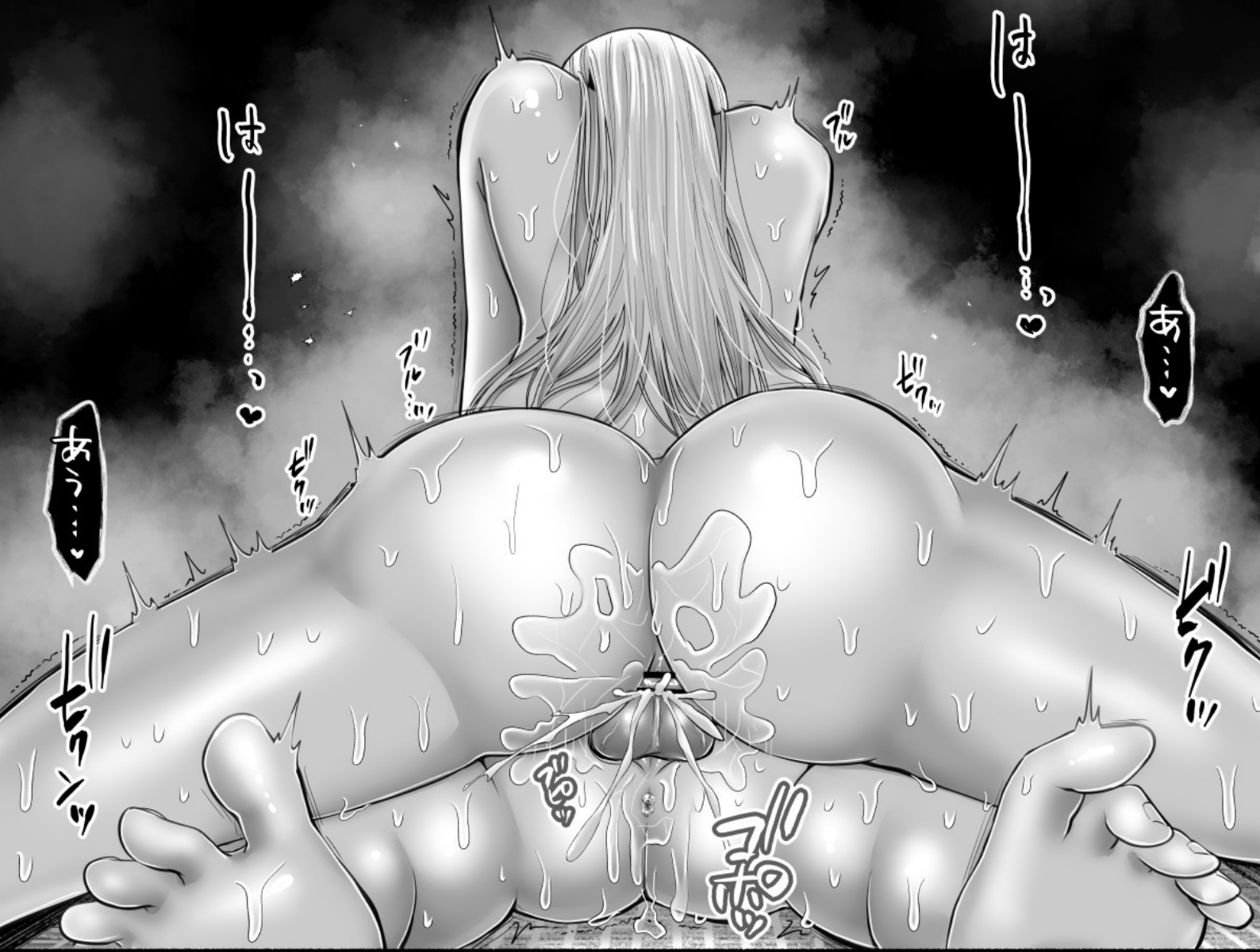
おねーさんと  
ボクの赤ちゃん  
育てるんだ…!!

それで

それでっ…!!







これから先  
ずーっと

幸せに  
暮らしましょうねえ…



ふたりきり誰にも  
邪魔されずに…♡

おね…せ…♡

ああ…

そういうば

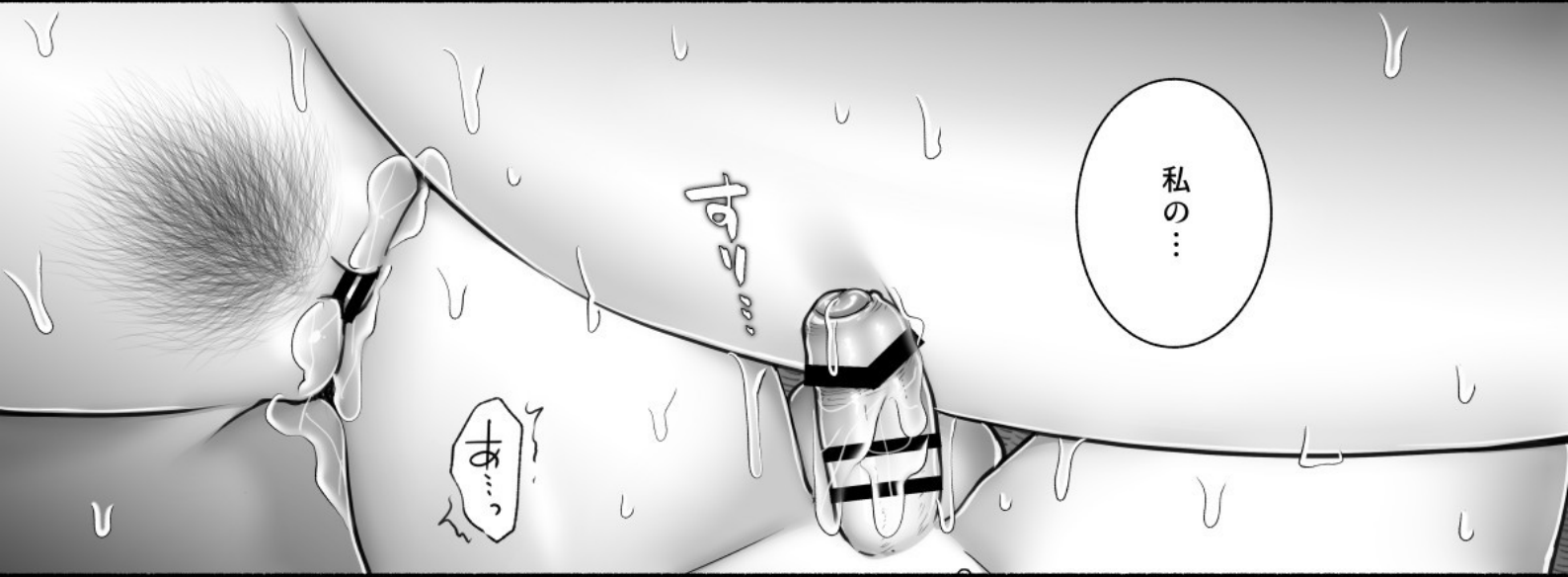
私の名前を  
お伝えして  
いなかったですね



私の旦那様…

どうぞ  
これからは

名前で  
お呼びください



私の…

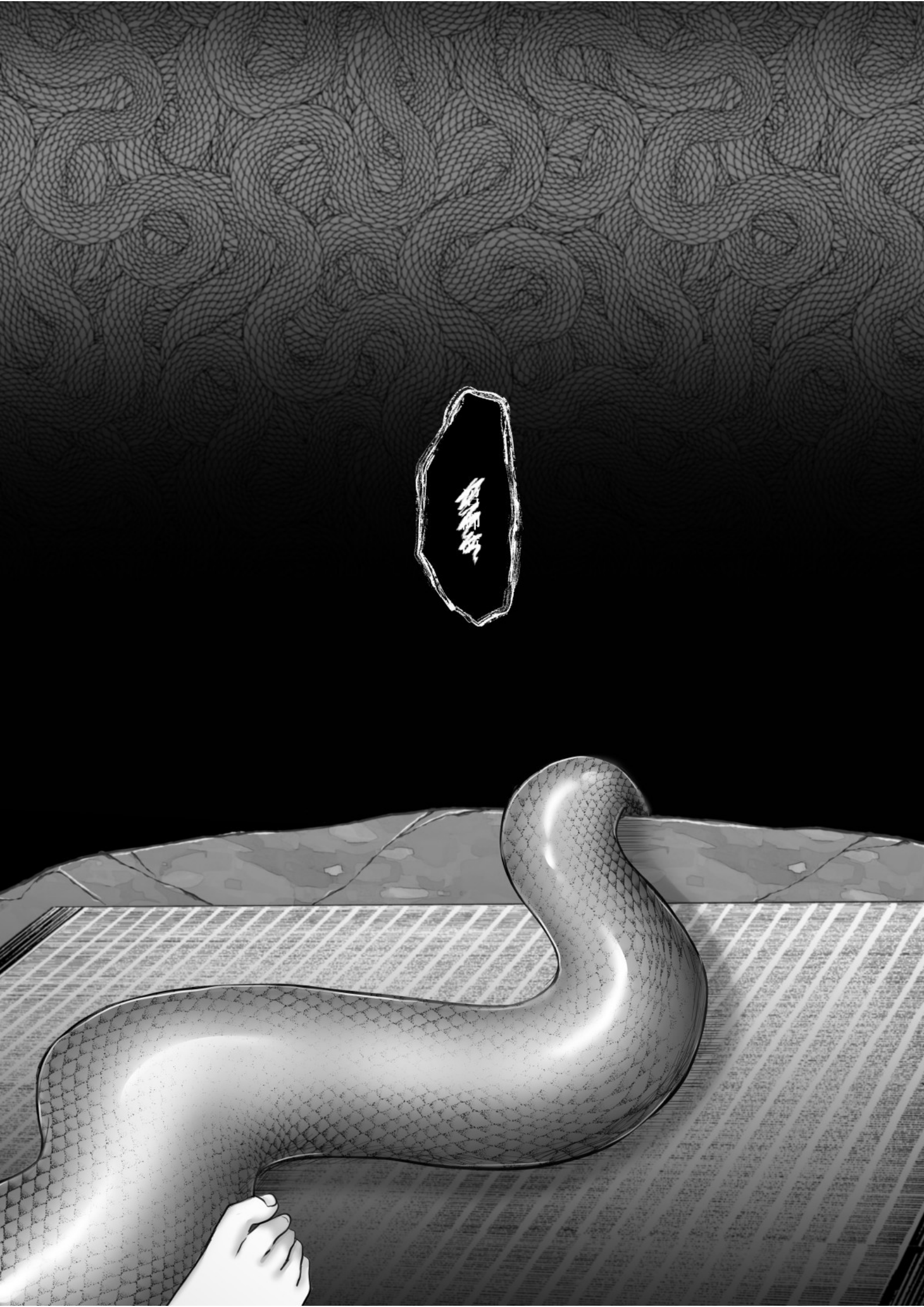
お…

お…



私の名は

お…





じつやまー！

ダメだ

はあ

湊…  
どこさ  
行ったんだ…

湊の姿どこにも  
見えねえ…！！

まさか  
山の中に…

分がんね…

湊さは山の中には  
行くでねって  
強く言い聞かせて  
ただけど…



でもあいつは昔  
白蛇に…

まさか  
呼ばれたんじゃ…！！

ハッ

ばあさん！

村の衆集めて  
探しさ行くぞ!!



ああ…  
湊…

無事でいてくれえ…

ドタドタ  
ドタドタ

たしほに  
行ってきます  
みなと

探しています  
[Notice with photo]

# 探しています

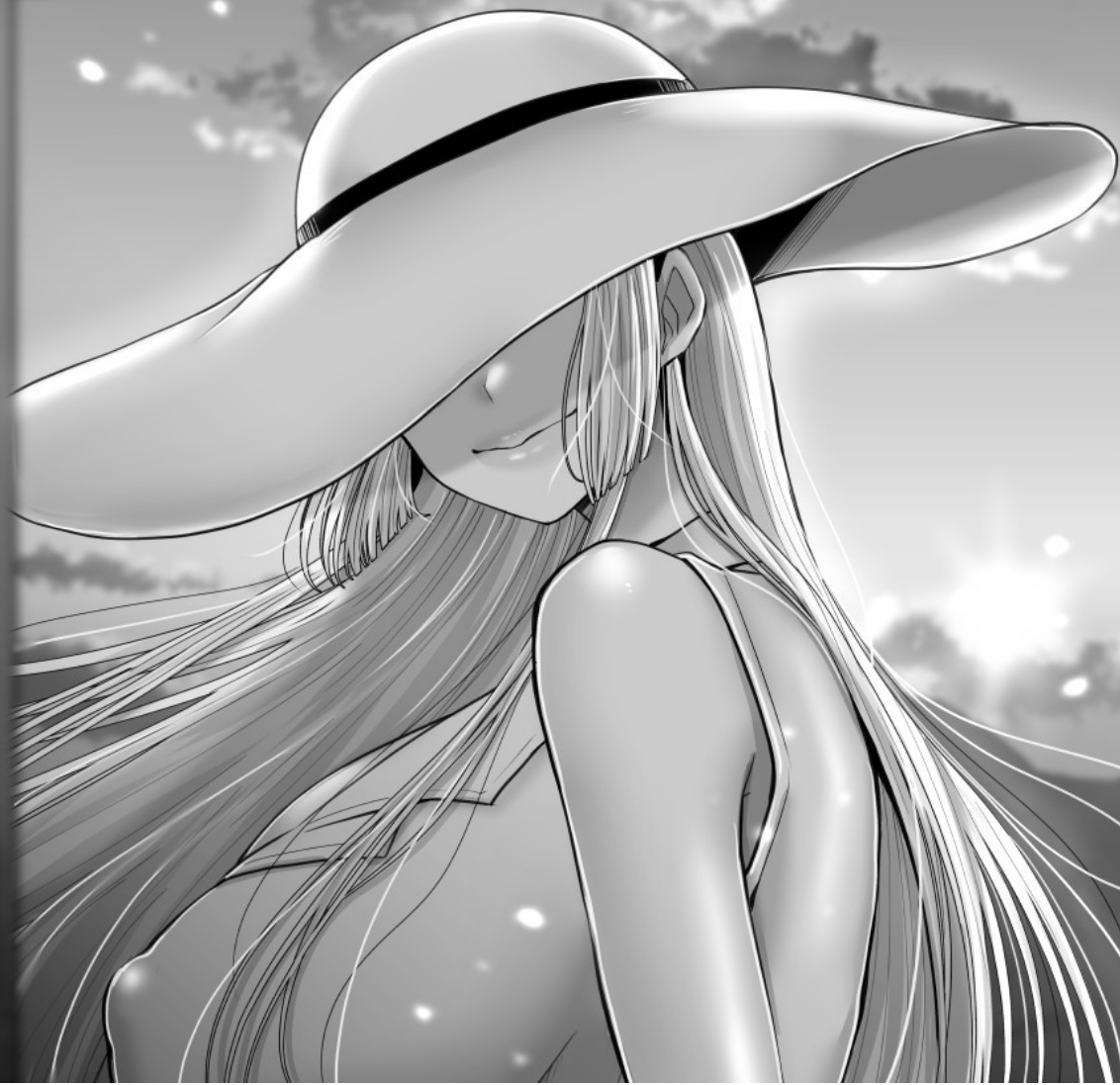


平成 年 8月 日、散歩に行くと  
自宅を出た後、行方不明になりました。

氏名 湊 (みなど)  
生年月日 昭和 年 月 日 (1歳)  
特徴 身長140cm 体重36kg 色白  
袖シャツ、カーキ色のハーフパンツ、黒のサンダル

心当たりの方は、下記警察署、もしくは最寄りの警察署に  
お知らせください。

警察署 生活安全課 連絡先



…湊や

山ん中さ一人で  
入るんでねえぞ

どうしてー？

あそこには  
おっかねえ神様が  
いっからよ

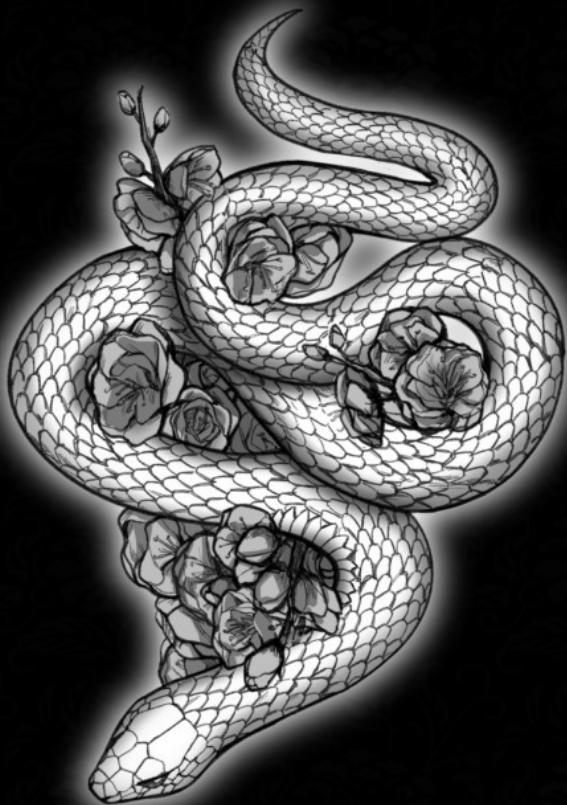
かみさま？

んだ

その神様に  
魅入られたら…



全てがお終えだ



# あとがき

こんにちは、作者のとーわです。

この度は、「白蛇語り～ボクの思い出のお姉さん～」を  
お手にとってください誠にありがとうございました。

初めてのおねショタ作品！

女性優位が好きな自分としては、お姉さんが主導権を握って無知な少年に  
色んなことを仕込む系のおねショタも大好物です。

おねショタは体格差も出やすいのでそこも萌えですね…

精神的にも肉体的にも優位に立つことができる大きいお姉さん最高！

今回、相手役の湊くんも頑張って描いたので、可愛いとっていただけたら  
めちゃくちゃ嬉しいです。

ホラーや怪談等も大好きなので、趣味全開のオカルトチックな話と  
なりましたが、如何でしたでしょうか。

ちなみに、某東北県の蛇にまつわる民話から着想を得ました。

人ならざるものなお姉さん。今回はほぼ人間の姿で描写しましたが、  
制作中に完全人外モンスター娘系も描いてみたい欲が湧いてきたので、  
いつかそういう話も描きたいなと思っています。

今後も変わらず女性優位物を制作していく予定なので、  
機会がありましたら是非見ていただけると嬉しいです。  
それでは！

サークル名：せめのや

作者：とーわ

発行月：2024年7月



